

仕事の振り返りシート（令和6年度実施分）

作成・更新日 令和7年12月1日

事業名	スポーツ協会運営支援事業	実施計画事業or一般事業	一般事業	市長公約	該当なし	総合戦略	該当なし	
		施策横断的な取組との関連性	SDGs	該当あり	コンパクトシティ	該当なし	スマートシティ	該当なし

1. 基本情報

担当組織	部	産業文化スポーツ部	予算中事業名	予算科目	会計	一般	事業計画	単年度繰り返し	
	課	スポーツ推進課	スポーツ協会運営支援事業		款	10	新規or継続	継続事業	
	係	市民スポーツ係			項	5	市単独or国県補助	市単独事業	
政策体系	体系コード	2221	名称		目	1	義務or任意	任意的事業	
	基本目標	2	新たな流れの創造による賑わうまちづくり		事業期間	開始年度	S 17	実施方法	
	政策	2	スポーツを軸とした人々が集まるまちづくり		終了年度			直営	
	施策	2	生涯スポーツ・競技スポーツの振興とスポーツ環境の整備					事業分類	
	基本事業	1	生涯スポーツの推進					支援事業	

2. 事業概要と目的及び（基本計画期間内）目標値

(1) 事業概要

事業概要	佐野市スポーツ協会が行うスポーツ普及、振興活動及び運営を支援する。
------	-----------------------------------

(2) 目的

目的 (本事業によって成し遂げたい状態)	佐野市スポーツ協会が主催する大会や事業の運営費を補助することにより、各支部や競技団体のスポーツの振興を図り、市民一人1スポーツの推進と市民の健康や体力の維持、増進及び競技力の向上を図ることを目的とする。	効果指標	単位	R3	R4	R5	R6	R7
		各支部・専門部の事業数	事業	30	30	30	30	80

3. 前年度の実績（活動及び費用対効果）説明

(1) 活動実績

活動実績 (R6年度に 行った主な活 動内容)	(市の活動) 交付金関係事務、各種共催事業開催のための事務 (団体の活動) 総会、常任理事会の開催 各競技団体等の指導・育成 主催・主幹事業 19支部、21専門部	活動指標	単位	R4	R5	R6		
		登録支部数	支部	19	19	19		
		登録競技団体数	団体	21	21	21		
		事業費計	千円	7,650	7,650	7,650		
		一般財源	千円	7,650	7,650	7,650		
		特定財源（国・県・他）	千円					
		（うち受益者負担）	千円					

(3) 活動による効果

効果説明 (定量及び 定性)	スポーツ協会を支援することは、市民の体位向上並びに各競技団体等の強化に繋がり、スポーツ振興が図られる。	効果指標	単位	R4	R5	R6	指標の性質	R5とR6の比較
		各支部・専門部の事業数	事業	52	54	78	値が大きいほど良い	効果が上がった

(5) 費用対効果結果（自動判定）

費用（R6とR5の一般財源増減）	費用の増減無し	※ 10万円以上の増減により判断			効果
効果（R6とR5の指標値増減）	効果が上がった指標数	1指標			効果が上がった
	効果は変わらない指標数	0指標			効果は変わらない
	効果が下がった指標数	0指標			効果が下がった
	指標全体	効果が上がった			
			費用は下がった		
			費用の増減無し	○	
			費用が増加した		

4. 次年度に向けた検討

(1) 令和6年度の事業実施における反省点、環境変化や関係者からの意見等を踏まえた検討課題、費用対効果向上のための課題

特記事項なし

(2) 上記反省点及び課題を踏まえた、令和7年度及び令和8年度の取組

取組説明

- 事業の在り方検討（廃止、休止、再編成、受益者負担の見直しなど）
- 事業効果を上げるための事務改善の検討
- 事業費の見直し検討
- 業務時間効率化のための事務改善の検討
- 特に検討事項無し（現状維持又は現状の計画通り）

仕事の振り返りシート（令和6年度実施分）

作成・更新日 令和7年12月1日

事業名	スポーツ少年団支援事業	実施計画事業or一般事業	一般事業	市長公約	該当なし	総合戦略	該当なし
		施策横断的な取組との関連性	SDGs	該当あり	コンパクトシティ	該当なし	スマートシティ

1. 基本情報

担当組織	部	産業文化スポーツ部	予算中事業名	予算 科目	会計	一般	事業計画	単年度繰り返し	
	課	スポーツ推進課	スポーツ少年団支援事業		款	10	新規or継続	継続事業	
	係	市民スポーツ係			項	5	市単独or国県補助	市単独事業	
政策体系	体系コード	2221	名称	佐野市スポーツ少年団本部 運営費補助金交付要領	目	1	義務or任意	任意的事業	
	基本目標	2	新たな流れの創造による賑わうまちづくり		事業	開始年度	H19	実施方法	
	政策	2	スポーツを軸とした人々が集まるまちづくり		期間	終了年度		直営	
	施策	2	生涯スポーツ・競技スポーツの振興とスポーツ環境の整備				事業分類	支援事業	
	基本事業	1	生涯スポーツの推進						

2. 事業概要と目的及び（基本計画期間内）目標値

(1) 事業概要

事業概要	スポーツ少年団本部が行うスポーツ普及、振興活動及び運営を支援する。
------	-----------------------------------

(2) 目的

目的 (本事業によって成し遂がたい 状態)	スポーツ少年団本部を支援することにより、青少年のスポーツ活動の普及と振興を図ることを目的とする。	効果指標	単位	R3	R4	R5	R6	R7
		登録団員数	人	550	550	550	550	550

3. 前年度の実績（活動及び費用対効果）説明

(1) 活動実績

活動実績 (R6年度に 行った主な活 動内容)	(市の活動) 交付金関係事務、各種研修会を支援する。 (団体の活動) 総会、資格取得講習会 競技別交流大会 体験会	活動指標	単位	R4	R5	R6		
		登録団体数	団体	26	26	24		
		事業費計	千円	1,000	350	400		
		一般財源	千円	300	350	400		
		特定財源（国・県・他）	千円	700				
		(うち受益者負担)	千円					

(3) 活動による効果

効果説明 (定量及び 定性)	加盟団体による体験会も開催しており、団員相互の交流のみならずスポーツするきっかけを創出することは、市民一人1スポーツの推進に繋がる。	効果指標	単位	R4	R5	R6	指標の性質	↓選択して下さい
		登録団員数	人	535	696	505	値が大きいほど良い	効果が下がった

(5) 費用対効果結果（自動判定）

費用（R6とR5の一般財源増減）	費用の増減無し	※ 10万円以上の増減により判断				効果
効果 (R6とR5の 指標値増減)	効果が上がった指標数	0指標				効果が上がった
	効果は変わらない指標数	0指標				効果は変わらない
	効果が下がった指標数	1指標				効果が下がった
	指標全体	効果が下がった				

4. 次年度に向けた検討

(1) 令和6年度の事業実施における反省点、環境変化や関係者からの意見等を踏まえた検討課題、費用対効果向上のための課題

特記事業なし

(2) 上記反省点及び課題を踏まえた、令和7年度及び令和8年度の取組

取組説明		
<input type="checkbox"/> 事業の在り方検討（廃止、休止、再編成、受益者負担の見直しなど）		

- 事業効果を上げるための事務改善の検討
- 事業費の見直し検討
- 業務時間効率化のための事務改善の検討
- 特に検討事項無し（現状維持又は現状の計画通り）

仕事の振り返りシート（令和6年度実施分）

作成・更新日 令和7年12月1日

事業名	スポーツ教室開催事業	実施計画事業or一般事業	一般事業	市長公約	該当なし	総合戦略	該当あり
		施策横断的な取組との関連性	SDGs	該当あり	コンパクトシティ	該当なし	スマートシティ

1. 基本情報

担当組織	部	産業文化スポーツ部	予算中事業名	予算 科目	会計	一般	事業計画	単年度繰り返し	
	課	スポーツ推進課	スポーツ教室開催事業		款	10	新規or継続	継続事業	
	係	市民スポーツ係			項	5	市単独or国県補助	市単独事業	
政策体系	体系コード	2221	名称		目	1	義務or任意	任意的事業	
	基本目標	2	新たな流れの創造による賑わうまちづくり		事業	開始年度	S56	実施方法	
	政策	2	スポーツを軸とした人々が集まるまちづくり		期間	終了年度		直営	
	施策	2	生涯スポーツ・競技スポーツの振興とスポーツ環境の整備					事業分類	
	基本事業	1	生涯スポーツの推進					イベント等開催事業	

2. 事業概要と目的及び（基本計画期間内）目標値

（1）事業概要

事業概要	佐野市スポーツ協会専門部や総合型地域スポーツクラブ等の各種団体に講師を依頼し、スポーツ教室を開催する。
------	---

（2）目的

目的 (本事業によって成し遂がたい 状態)	スポーツ教室を開催し、市民一人1スポーツ・レクリエーションを行うための機会を充実させる。	効果指標	単位	R3	R4	R5	R6	R7
		スポーツ教室参加者数	人	383	420	440	460	480

（3）目標値

3. 前年度の実績（活動及び費用対効果）説明

（1）活動実績

活動実績 (R6年度に 行った主な活 動内容)	13種目20教室のスポーツ教室を開催した。	活動指標	単位	R4	R5	R6		
		教室数	教室	18	19	20		
		事業費計	千円	929	1,077	1,209		
		一般財源	千円	289	384	562		
		特定財源（国・県・他）	千円	640	693	647		
		（うち受益者負担）	千円	640	693	647		

（3）活動による効果

効果説明 (定量及び 定性)	スポーツを行うきっかけとなり、市民一人1スポーツの推進に繋がっている。	効果指標	単位	R4	R5	R6	指標の性質	R5とR6の比較
		スポーツ教室参加者数	人	557	598	622	個が大きいほど良い	効果が上がった

（4）事業効果を説明する数値データの推移

↓選択して下さい

（5）費用対効果結果（自動判定）

費用（R6とR5の一般財源増減）	費用が増加した	※10万円以上の増減により判断					効果
		効果が上がった指標数	1指標				
		効果は変わらない指標数	0指標				
		効果が下がった指標数	0指標				
		指標全体	効果が上がった				

費 用	効果が上がった	効果は変わらない	効果が下がった
	費用は下がった		
	費用の増減無し		

4. 次年度に向けた検討

（1）令和6年度の事業実施における反省点、環境変化や関係者からの意見等を踏まえた検討課題、費用対効果向上のための課題

スポーツ教室の指導は、スポーツ協会各専門部及び総合型スポーツクラブが担っており、各教室の回数を考慮すると事業費を充実する必要がある。
--

（2）上記反省点及び課題を踏まえた、令和7年度及び令和8年度の取組

取組説明
講師謝礼等検討する必要がある。

- 事業の在り方検討（廃止、休止、再編成、受益者負担の見直しなど）
- 事業効果を上げるための事務改善の検討
- 事業費の見直し検討
- 業務時間効率化のための事務改善の検討
- 特に検討事項無し（現状維持又は現状の計画通り）

仕事の振り返りシート（令和6年度実施分）

作成・更新日 令和7年12月1日

事業名	レクリエーション協会支援事業	実施計画事業or一般事業	一般事業	市長公約	該当なし	総合戦略	該当なし
		施策横断的な取組との関連性	SDGs	該当なし	コンパクトシティ	該当なし	スマートシティ

1. 基本情報

担当組織	部	産業文化スポーツ部	予算中事業名	予算科目	会計	一般	事業計画	単年度繰り返し	
	課	スポーツ推進課	レクリエーション協会支援事業		款	10	新規or継続	継続事業	
	係	市民スポーツ係			項	5	市単独or国県補助	市単独事業	
政策体系	体系コード	2221	名称	レクリエーション協会運営費補助金	目	1	義務or任意	任意的事業	
	基本目標	2	新たな流れの創造による賑わうまちづくり		事業期間	開始年度	H17	実施方法	
	政策	2	スポーツを軸とした人々が集まるまちづくり			終了年度		事業分類	
	施策	2	生涯スポーツ・競技スポーツの振興とスポーツ環境の整備					支援事業	
	基本事業	1	生涯スポーツの推進						

2. 事業概要と目的及び（基本計画期間内）目標値

(1) 事業概要

事業概要	佐野市レクリエーション協会の活動支援及び運営費を補助する。
------	-------------------------------

(2) 目的

目的 (本事業によって成し遂げたい状態)	佐野市レクリエーション協会の運営費を補助し、その活動を支援することにより、レクリエーションの普及・発展と、明るく豊かなまちづくりをめざすことを目的とする。	効果指標	単位	R3	R4	R5	R6	R7
		週に1回以上運動している割合	%	50	43	46	48	50

3. 前年度の実績（活動及び費用対効果）説明

(1) 活動実績

活動実績 (R6年度に 行った主な活 動内容)	(市の活動) 交付金関係事務 (団体の活動) 総会、役員会の開催 加盟団体の指導・育成 自主事業の実施	活動指標	単位	R4	R5	R6		
		登録団体数	団体	20	15	15		
		事業費計	千円	485	585	585		
		一般財源	千円	485	585	585		
		特定財源（国・県・他）	千円					
		（うち受益者負担）	千円					

(3) 活動による効果

効果説明 (定量及び 定性)	レクリエーションに親しむ機会を提供することは、運動をする習慣を付けるきっかけとなり、市民一人1スポーツの推進に繋がる。	効果指標	単位	R4	R5	R6	指標の性質	R5とR6の比較
		週に1回以上運動している割合	%	39	41	40	効果が大きいほど良い	効果が下がった

(5) 費用対効果結果（自動判定）

費用（R6とR5の一般財源増減）	費用の増減無し	※ 10万円以上の増減により判断			効果		
効果（R6とR5の指標値増減）	効果が上がった指標数	0指標			効果が上がった	効果は変わらない	効果が下がった
	効果は変わらない指標数	0指標					
	効果が下がった指標数	1指標					
	指標全体	効果が下がった					

4. 次年度に向けた検討

(1) 令和6年度の事業実施における反省点、環境変化や関係者からの意見等を踏まえた検討課題、費用対効果向上のための課題

特記事業なし

(2) 上記反省点及び課題を踏まえた、令和7年度及び令和8年度の取組

取組説明
<input type="checkbox"/> 事業の在り方検討（廃止、休止、再編成、受益者負担の見直しなど） <input type="checkbox"/> 事業効果を上げるための事務改善の検討 <input type="checkbox"/> 事業費の見直し検討 <input type="checkbox"/> 業務時間効率化のための事務改善の検討 <input checked="" type="checkbox"/> 特に検討事項無し（現状維持又は現状の計画通り）

仕事の振り返りシート（令和6年度実施分）

作成・更新日 令和7年12月1日

事業名	レクリエーション大会開催支援事業	実施計画事業or一般事業	一般事業	市長公約	該当なし	総合戦略	該当なし
		施策横断的な取組との関連性	SDGs	該当あり	コンパクトシティ	該当なし	スマートシティ

1. 基本情報

担当組織	部	産業文化スポーツ部	予算中事業名	予算科目	会計	一般	事業計画	単年度繰り返し
	課	スポーツ推進課	クリエーション大会開催支援事業		款	10	新規or継続	継続事業
	係	市民スポーツ係			項	5	市単独or国県補助	市単独事業
政策体系	体系コード	2221	名称	事業期間	目	1	義務or任意	任意的事業
	基本目標	2	新たな流れの創造による賑わうまちづくり		開始年度	H17	実施方法	直営
	政策	2	スポーツを軸とした人々が集まるまちづくり		終了年度		事業分類	支援事業
	施策	2	生涯スポーツ・競技スポーツの振興とスポーツ環境の整備					
	基本事業	1	生涯スポーツの推進					
			リエーション大会運営費交付金					

2. 事業概要と目的及び（基本計画期間内）目標値

(1) 事業概要

事業概要	佐野市民レクリエーションフェスティバルの開催を支援する。
------	------------------------------

(2) 目的

目的 (本事業によって成し遂げたい状態)	市民一人ひとりの体力増強と、健康で文化的な生活に資することを目的として大会を開催する。	効果指標	単位	R3	R4	R5	R6	R7
		週に1回以上運動している割合	%	50	43	46	48	50

3. 前年度の実績（活動及び費用対効果）説明

(1) 活動実績

活動実績 (R6年度に行なった主な活動内容)	第20回佐野市民レクリエーションフェスティバル 開催日 令和7年3月9日（日） 会場 佐野市運動公園各施設 他 内容 マスターズスポーツフェスティバル ソフトバレーボール 他 レク団体PR兼レクゲーム体験コーナー スカイクロス 他	活動指標	単位	R4	R5	R6		
		参加者数	人	1,000	300	600		
		事業費計	千円	200	200	400		
		一般財源	千円	200	200	400		
		特定財源（国・県・他）	千円					
		（うち受益者負担）	千円					

(3) 活動による効果

効果説明 (定量及び定性)	広く市民各層の参加を得、レクリエーション、体力づくり実践活動を展開し、市民の体力増強と健康で活力に満ちた市民生活の向上に寄与する。	効果指標	単位	R4	R5	R6	指標の性質	R5とR6の比較
		週に1回以上運動している割合	%	39	41	40	値が大きいほど良い	効果が下がった

(5) 費用対効果結果（自動判定）

費用（R6とR5の一般財源増減）	費用が増加した	※ 10万円以上の増減により判断			効果
効果（R6とR5の指標値増減）	効果が上がった指標数	0指標			効果が上がった
	効果は変わらない指標数	0指標			効果は変わらない
	効果が下がった指標数	1指標			効果が下がった
	指標全体	効果が下がった			○

4. 次年度に向けた検討

(1) 令和6年度の事業実施における反省点、環境変化や関係者からの意見等を踏まえた検討課題、費用対効果向上のための課題

実施団体の高齢化等

(2) 上記反省点及び課題を踏まえた、令和7年度及び令和8年度の取組

取組説明
<ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> 事業の在り方検討（廃止、休止、再編成、受益者負担の見直しなど） <input type="checkbox"/> 事業効果を上げるための事務改善の検討 <input type="checkbox"/> 事業費の見直し検討 <input type="checkbox"/> 業務時間効率化のための事務改善の検討 <input checked="" type="checkbox"/> 特に検討事項無し（現状維持又は現状の計画通り）

仕事の振り返りシート（令和6年度実施分）

作成・更新日 令和7年12月1日

事業名	ウォーカラリー大会開催支援事業	実施計画事業or一般事業	一般事業	市長公約	該当なし	総合戦略	該当なし
		施策横断的な取組との関連性	SDGs	該当あり	コンパクトシティ	該当なし	スマートシティ

1. 基本情報

担当組織	部	産業文化スポーツ部	予算中事業名	予算科目	会計	一般	事業計画	単年度繰り返し
	課	スポーツ推進課	ウォーカラリー大会開催支援事業		款	10	新規or継続	継続事業
	係	市民スポーツ係			項	5	市単独or国県補助	市単独事業
政策体系	体系コード	2221	名称	オーカラリー大会交付金交付要	目	1	義務or任意	任意的事業
	基本目標	2	新たな流れの創造による賑わうまちづくり		事業期間	開始年度	H4	実施方法
	政策	2	スポーツを軸とした人々が集まるまちづくり			終了年度		直営
	施策	2	生涯スポーツ・競技スポーツの振興とスポーツ環境の整備					事業分類
	基本事業	1	生涯スポーツの推進					支援事業

2. 事業概要と目的及び（基本計画期間内）目標値

(1) 事業概要

事業概要	幅広い層の市民が気軽に参加できるウォーカラリーコース大会開催を支援する。
------	--------------------------------------

(2) 目的

目的 (本事業によって成し遂げたい状態)	幅広い層の市民が気軽に参加できるウォーカラリーコースを設定し、開催することにより、レクリエーションの普及、仲間づくり及び体力づくりを目的とする。	効果指標	単位	R3	R4	R5	R6	R7
		参加者数	人	0	300	300	300	300

3. 前年度の実績（活動及び費用対効果）説明

(1) 活動実績

活動実績 (R6年度に 行った主な活 動内容)	第20回佐野ウォーカラリー大会（雨天中止） 開催日 令和6年6月2日（日） 会場 国際クリケット場周辺	活動指標	単位	R4	R5	R6		
		コース数	コース	2	2	2		
		事業費計	千円	70	70	80		
		一般財源	千円	70	70	80		
		特定財源（国・県・他）	千円					
		（うち受益者負担）	千円					

(3) 活動による効果

効果説明 (定量及び定性)	ウォーカラリー大会に参加することは、スポーツ・レクリエーションに親しみ、市民一人1スポーツの推進に繋がる。	効果指標	単位	R4	R5	R6	指標の性質	R5とR6の比較
		参加者数	人	253	252	0	値が大きいほど良い	効果が下がった

(5) 費用対効果結果（自動判定）

費用（R6とR5の一般財源増減）	費用の増減無し	※ 10万円以上の増減により判断			効果		
効果（R6とR5の指標値増減）	効果が上がった指標数	0指標			効果が上がった	効果は変わらない	効果が下がった
	効果は変わらない指標数	0指標					
	効果が下がった指標数	1指標					
	指標全体	効果が下がった					

費用	効果が上がった	効果は変わらない	効果が下がった

4. 次年度に向けた検討

(1) 令和6年度の事業実施における反省点、環境変化や関係者からの意見等を踏まえた検討課題、費用対効果向上のための課題

令和6年度は荒天予報のため、前日判断で中止となった。 ウォーカラリーの性質上、1コースあたりの参加組数に制限があり参加数が限られる。

(2) 上記反省点及び課題を踏まえた、令和7年度及び令和8年度の取組

取組説明
事務の効率化の検討が必要である。

- 事業の在り方検討（廃止、休止、再編成、受益者負担の見直しなど）
- 事業効果を上げるための事務改善の検討
- 事業費の見直し検討
- 業務時間効率化のための事務改善の検討
- 特に検討事項無し（現状維持又は現状の計画通り）

仕事の振り返りシート（令和6年度実施分）

作成・更新日 令和7年12月1日

事業名	佐野市スポーツ推進委員協議会活動支援事業	実施計画事業or一般事業	一般事業	市長公約	該当なし	総合戦略	該当なし
		施策横断的な取組との関連性	SDGs	該当あり	コンパクトシティ	該当なし	スマートシティ

1. 基本情報

担当組織	部	産業文化スポーツ部	予算中事業名	予算科目	会計	一般	事業計画	単年度繰り返し	
	課	スポーツ推進課	佐野市スポーツ推進委員協議会活動支援事業		款	10	新規or継続	継続事業	
	係	市民スポーツ係			項	5	市単独or国県補助	市単独事業	
政策体系	体系コード	2221	名称	佐野市スポーツ推進基本計画 佐野市スポーツ推進委員規則	目	1	義務or任意	任意的事業	
	基本目標	2	新たな流れの創造による賑わうまちづくり		事業期間	開始年度	H 18	実施方法	
	政策	2	スポーツを軸とした人々が集まるまちづくり		期間	終了年度		直営	
	施策	2	生涯スポーツ・競技スポーツの振興とスポーツ環境の整備					事業分類	
	基本事業	1	生涯スポーツの推進					支援事業	

2. 事業概要と目的及び（基本計画期間内）目標値

(1) 事業概要

事業概要	スポーツ推進委員協議会に交付金を交付し、協議会が自主的に事業を企画運営するための活動資金を支援する。
------	--

(2) 目的

目的 (本事業によって成し遂げたい状態)	スポーツ推進委員が活動するにあたり協議会を設置することにより、その活動が円滑に進められることを目的として支援する。	効果指標	単位	R3	R4	R5	R6	R7
		スポーツ推進委員	人	30	30	30	30	30
		協力事業数	回	2	4	7	7	7

3. 前年度の実績（活動及び費用対効果）説明

(1) 活動実績

活動実績 (R6年度に行なった主な活動内容)	総会・定例会の開催 市民ハイキングの実施（自主事業） ニュースポーツの推進（さいかつばーる） 市主催事業（スポーツ関係）等への協力	活動指標	単位	R4	R5	R6		
		定例会	回	11	11	11		
		自主事業数	回	1	1	1		
		事業費計	千円	1,250	1,250	1,250		
		一般財源	千円	650	1,250	1,250		
		特定財源（国・県・他）	千円					
		（うち受益者負担）	千円					

(3) 活動による効果

効果説明 (定量及び定性)	月1回の定例会開催により、情報の共有化が図られ、市民一人一人のスポーツの推進が図られる。	効果指標	単位	R4	R5	R6	指標の性質	R5とR6の比較
		スポーツ推進委員	人	26	25	25	値が大きいほど良い	効果は変わらない
		協力事業数	回	1	7	7	値が大きいほど良い	効果は変わらない

(4) 事業効果を説明する数値データの推移

↓選択して下さい

（5）費用対効果結果（自動判定）	費用（R6とR5の一般財源増減）	効果指標	単位	R4	R5	R6	指標の性質	R5とR6の比較
		スポーツ推進委員	人	26	25	25	値が大きいほど良い	効果は変わらない
		協力事業数	回	1	7	7	値が大きいほど良い	効果は変わらない

(6) 費用対効果結果（自動判定）

効果 (R6とR5の指標値増減)	効果が上がった指標数 効果は変わらない指標数 効果が下がった指標数 指標全体	費用の増減無し	※ 10万円以上の増減により判断	効果 効果が上がった 効果は変わらない 効果が下がった ○ 費用が増加した	費用 費用は下がった 費用の増減無し 費用が増加した
		0指標			
		2指標			
		0指標			

4. 次年度に向けた検討

(1) 令和6年度の事業実施における反省点、環境変化や関係者からの意見等を踏まえた検討課題、費用対効果向上のための課題

協力事業等において、委員により参加率が異なることから、積極的な参加を促す必要ある。

(2) 上記反省点及び課題を踏まえた、令和7年度及び令和8年度の取組

取組説明
スポーツ推進委員一人一人の更なる主体的な取組みが必要。

- 事業の在り方検討（廃止、休止、再編成、受益者負担の見直しなど）
- 事業効果を上げるための事務改善の検討
- 事業費の見直し検討
- 業務時間効率化のための事務改善の検討
- 特に検討事項無し（現状維持又は現状の計画通り）

仕事の振り返りシート（令和6年度実施分）

作成・更新日 令和7年12月1日

事業名	佐野市スポーツ推進委員設置事業	実施計画事業or一般事業	一般事業	市長公約	該当なし	総合戦略	該当なし
		施策横断的な取組との関連性	SDGs	該当あり	コンパクトシティ	該当なし	スマートシティ

1. 基本情報

担当組織	部	産業文化スポーツ部	予算中事業名	予算科目	会計	一般	事業計画	単年度繰り返し
	課	スポーツ推進課	佐野市スポーツ推進委員設置事業		款	10	新規or継続	継続事業
	係	市民スポーツ係			項	5	市単独or国県補助	市単独事業
政策体系	体系コード	2221	名称	スポーツ基本法 佐野市スポーツ推進委員規則	目	1	義務or任意	任意的事業
	基本目標	2	新たな流れの創造による賑わうまちづくり		事業期間	開始年度	H 18	実施方法
	政策	2	スポーツを軸とした人々が集まるまちづくり		期間	終了年度		直営
	施策	2	生涯スポーツ・競技スポーツの振興とスポーツ環境の整備					事業分類
	基本事業	1	生涯スポーツの推進					審議会等運営事業

2. 事業概要と目的及び（基本計画期間内）目標値

(1) 事業概要

事業概要	市民の生涯スポーツ・レクリエーションの普及に寄与するため、スポーツ推進委員を設置する。
------	---

(2) 目的

目的 (本事業によって成し遂げたい状態)	市民のスポーツ・レクリエーション活動の推進のため、非常勤特別職としてスポーツ推進委員を委嘱し、スポーツの振興を図る。	効果指標	単位	R3	R4	R5	R6	R7
		週に1回以上運動している割合	%	50	43	46	48	50

3. 前年度の実績（活動及び費用対効果）説明

(1) 活動実績

活動実績 (R6年度に行なった主な活動内容)	県主催の実技指導・研修会に参加した委員への報酬支払	活動指標	単位	R4	R5	R6	
		スポーツ推進委員	人	26	25	25	
		事業費計	千円	426	380	403	
		一般財源	千円	426	380	403	
		特定財源（国・県・他）	千円				
		（うち受益者負担）	千円				

(3) 活動による効果

効果説明 (定量及び定性)	スポーツ推進委員の資質向上は、スポーツの推進に繋がる。	効果指標	単位	R4	R5	R6	指標の性質	R5とR6の比較
		週に1回以上運動している割合	%	52	54	40	値が大きいほど良い	効果が下がった

(5) 費用対効果結果（自動判定）

費用（R6とR5の一般財源増減）	効果（R6とR5の指標値増減）	費用の増減無し	※ 10万円以上の増減により判断					効果
		0指標						
		0指標						
		1指標						
		効果が下がった						

費用	効果が上がった	効果は変わらない	効果が下がった
	費用は下がった		
	費用の増減無し		○

4. 次年度に向けた検討

(1) 令和6年度の事業実施における反省点、環境変化や関係者からの意見等を踏まえた検討課題、費用対効果向上のための課題

新たなスポーツ推進委員の確保が検討課題である。

(2) 上記反省点及び課題を踏まえた、令和7年度及び令和8年度の取組

取組説明	
<input type="checkbox"/> 事業の在り方検討（廃止、休止、再編成、受益者負担の見直しなど）	
<input type="checkbox"/> 事業効果を上げるための事務改善の検討	
<input type="checkbox"/> 事業費の見直し検討	
<input type="checkbox"/> 業務時間効率化のための事務改善の検討	
<input checked="" type="checkbox"/> 特に検討事項無し（現状維持又は現状の計画通り）	

仕事の振り返りシート（令和6年度実施分）

作成・更新日 令和7年12月1日

事業名	佐野市スポーツ推進審議会運営事業	実施計画事業or一般事業	一般事業	市長公約	該当なし	総合戦略	該当なし
		施策横断的な取組との関連性	SDGs	該当なし	コンパクトシティ	該当なし	スマートシティ

1. 基本情報

担当組織	部	産業文化スポーツ部	予算中事業名	予算科目	会計	一般	事業計画	単年度繰り返し	
	課	スポーツ推進課	佐野市スポーツ推進審議会運営事業		款	10	新規or継続	継続事業	
	係	スポーツツーリズム係			項	5	市単独or国県補助	市単独事業	
政策体系	体系コード	2221	名称	根拠法令、条例等 スポーツ基本法 佐野市スポーツ推進審議会 条例及び同条例施行規則	目	1	義務or任意	任意的事業	
	基本目標	2	新たな流れの創造による賑わうまちづくり		事業期間	開始年度	H16	実施方法	
	政策	2	スポーツを軸とした人々が集まるまちづくり			終了年度		直営	
	施策	2	生涯スポーツ・競技スポーツの振興とスポーツ環境の整備					事業分類	
	基本事業	1	生涯スポーツの推進					審議会等運営事業	

2. 事業概要と目的及び（基本計画期間内）目標値

(1) 事業概要

事業概要	佐野市スポーツ推進基本計画の策定をはじめ、スポーツ行政の推進に関する事項を調査審議するスポーツ推進審議会の運営 ※スポーツ推進審議会は15名以内の委員（令和5年度末時点13名）で組織
------	--

(2) 目的

目的 (本事業によって成し遂げたい状態)	スポーツ推進審議会にて、スポーツ行政の課題等を審議し、スポーツ推進の取組改善を図る。	効果指標	単位	R3	R4	R5	R6	R7
		審議し改善した取組	%			100	100	100

3. 前年度の実績（活動及び費用対効果）説明

(1) 活動実績

活動実績 (R6年度に 行った主な活 動内容)	第1回会議 日時：令和7年3月24日（月） 議事：市民のスポーツ実施質向上対策について 委員出席：10名/13名	活動指標	単位	R4	R5	R6		
		会議開催	回	1	2	1		
		事業費計	千円	81	138	81		
		一般財源	千円	81	138	81		
		特定財源（国・県・他）	千円					
		（うち受益者負担）	千円					

(3) 活動による効果

効果説明 (定量及び 定性)	スポーツボランティア制度について、ボランティア募集等の各種広報、活動の場の提示方法など改善に向けた意見をいただいたが検討にまとまってしまった。 さのマラソンについて、審議会意見によりR6さのマラソンにて、ハーフマラソンを実施する方針とした。	効果指標	単位	R4	R5	R6	指標の性質	R5とR6の比較
		審議し改善した取組	%		50	50	値が大きいほど良い	効果は変わらない

(5) 費用対効果結果（自動判定）

費用（R6とR5の一般財源増減）	費用の増減無し	※ 10万円以上の増減により判断			効果		
効果（R6とR5の指標値増減）	効果が上がった指標数	0指標	効果が変わらない指標数	1指標	効果が下がった指標数	0指標	効果が下がった

費用	効果が上がった	効果は変わらない	効果が下がった

4. 次年度に向けた検討

(1) 令和6年度の事業実施における反省点、環境変化や関係者からの意見等を踏まえた検討課題、費用対効果向上のための課題

審議事項が生じたタイミングで、審議会を開催することができた。今後も、案件に応じ適切に審議会を開催していく。

(2) 上記反省点及び課題を踏まえた、令和7年度及び令和8年度の取組

取組説明
<ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> 事業の在り方検討（廃止、休止、再編成、受益者負担の見直しなど） <input type="checkbox"/> 事業効果を上げるための事務改善の検討 <input type="checkbox"/> 事業費の見直し検討 <input type="checkbox"/> 業務時間効率化のための事務改善の検討 <input checked="" type="checkbox"/> 特に検討事項無し（現状維持又は現状の計画通り）

仕事の振り返りシート（令和6年度実施分）

作成・更新日 令和7年12月1日

事業名	佐野市スポーツ賞表彰事業	実施計画事業or一般事業	一般事業	市長公約	該当なし	総合戦略	該当なし	
		施策横断的な取組との関連性	SDGs	該当あり	コンパクトシティ	該当なし	スマートシティ	該当なし

1. 基本情報

担当組織	部	産業文化スポーツ部	予算中事業名	予算科目	会計	一般	事業計画	単年度繰り返し	
	課	スポーツ推進課	佐野市スポーツ賞表彰事業		款	10	新規or継続	継続事業	
	係	市民スポーツ係			項	5	市単独or国県補助	市単独事業	
政策体系	体系コード	2221	名称		目	1	義務or任意	任意的事業	
	基本目標	2	新たな流れの創造による賑わうまちづくり		事業期間	開始年度	H 26	実施方法	
	政策	2	スポーツを軸とした人々が集まるまちづくり		終了年度			直営	
	施策	2	生涯スポーツ・競技スポーツの振興とスポーツ環境の整備					事業分類	
	基本事業	1	生涯スポーツの推進					その他市民に対する事業	

2. 事業概要と目的及び（基本計画期間内）目標値

(1) 事業概要

事業概要	スポーツ振興に著しく貢献された者に表彰を行う。
------	-------------------------

(2) 目的

目的 (本事業によって成し遂げたい状態)	佐野市スポーツ立市推進計画に基づき、生涯スポーツのみならず、競技力の底上げを図ることを目的とする。	効果指標	単位	R3	R4	R5	R6	R7
		全国大会出場件数	件	165	120	130	140	165

3. 前年度の実績（活動及び費用対効果）説明

(1) 活動実績

活動実績 (R6年度に行なった主な活動内容)	スポーツ賞 個人 1人 団体 0件 スポーツ特別賞 個人 6人 団体 0件 ジュニアスポーツ賞 小学生 47人 中学生 34人 合計 81人 表彰した。	活動指標	単位	R4	R5	R6		
		スポーツ賞・特別賞授与団体	団体	1	1	0		
		スポーツ賞・特別賞授与個人	人	9	6	7		
		ジュニアスポーツ賞授与者	人	84	131	81		
		事業費計	千円	245	422	295		
		一般財源	千円			295		
		特定財源（国・県・他）	千円			0		
		（うち受益者負担）	千円			0		

(3) 活動による効果

効果説明 (定量及び定性)	活躍した選手を表彰することは、各選手の励みになると考える。	効果指標	単位	R4	R5	R6	指標の性質	R5とR6の比較
		全国大会出場件数	件	294	355	156	値が大きいほど良い	効果が下がった

(5) 費用対効果結果（自動判定）

費用（R6とR5の一般財源増減）	費用が増加した	※ 10万円以上の増減により判断			効果		
効果（R6とR5の指標値増減）	効果が上がった指標数	0指標			効果が上がった	効果は変わらない	効果が下がった
	効果は変わらない指標数	0指標					
	効果が下がった指標数	1指標					
	指標全体	効果が下がった					

4. 次年度に向けた検討

(1) 令和6年度の事業実施における反省点、環境変化や関係者からの意見等を踏まえた検討課題、費用対効果向上のための課題

受賞対象者の調査において市内学校等の協力を得しており、調査方法の検討が必要。
--

(2) 上記反省点及び課題を踏まえた、令和7年度及び令和8年度の取組

<input type="checkbox"/> 事業の在り方検討（廃止、休止、再編成、受益者負担の見直しなど） <input type="checkbox"/> 事業効果を上げるための事務改善の検討 <input type="checkbox"/> 事業費の見直し検討 <input checked="" type="checkbox"/> 業務時間効率化のための事務改善の検討 <input type="checkbox"/> 特に検討事項無し（現状維持又は現状の計画通り）	<table border="1"> <tr> <td>取組説明</td></tr> <tr> <td>受賞対象者の調査方法を再検討する。</td></tr> </table>	取組説明	受賞対象者の調査方法を再検討する。
取組説明			
受賞対象者の調査方法を再検討する。			

仕事の振り返りシート（令和6年度実施分）

作成・更新日 令和7年12月1日

事業名	全国スポーツ推進委員協議会参画事業	実施計画事業or一般事業	一般事業	市長公約	該当なし	総合戦略	該当なし
		施策横断的な取組との関連性	SDGs	該当あり	コンパクトシティ	該当なし	スマートシティ

1. 基本情報

担当組織	部	産業文化スポーツ部	予算中事業名	予算科目	会計	一般	事業計画	単年度繰り返し	
	課	スポーツ推進課	全国スポーツ推進委員協議会参画事業		款	10	新規or継続	継続事業	
	係	市民スポーツ係			項	5	市単独or国県補助	市単独事業	
政策体系	体系コード	2221	名称	スポーツ基本法	目	1	義務or任意	任意的事業	
	基本目標	2	新たな流れの創造による賑わうまちづくり		事業期間	開始年度	実施方法	直営	
	政策	2	スポーツを軸とした人々が集まるまちづくり		終了年度		事業分類	支援事業	
	施策	2	生涯スポーツ・競技スポーツの振興とスポーツ環境の整備						
	基本事業	1	生涯スポーツの推進						

2. 事業概要と目的及び（基本計画期間内）目標値

(1) 事業概要

事業概要	全国スポーツ推進委員研究協議会に参加し、他自治体のスポーツ推進委員と情報交換・交流・研修を図る。
------	--

(2) 目的

目的 (本事業によって成し遂げたい状態)	佐野市スポーツ推進委員が全国スポーツ推進委員協議会に参画することにより、全国のスポーツ推進委員との情報の共有と交流・研修を図ることを目的としている。	効果指標	単位	R3	R4	R5	R6	R7
		スポーツ推進委員	人	30	30	30	30	30

3. 前年度の実績（活動及び費用対効果）説明

(1) 活動実績

活動実績 (R6年度に行なった主な活動内容)	全国スポーツ推進委員研究協議会 宮崎大会 に参加した。	活動指標	単位	R4	R5	R6	
		全国協議会参加者数	人	2	2	2	
		事業費計	千円	44	45	60	
		一般財源	千円	44	45	60	
		特定財源（国・県・他）	千円				
		（うち受益者負担）	千円				

(3) 活動による効果

効果説明 (定量及び定性)		効果指標	単位	R4	R5	R6	指標の性質 R5とR6の比較
		スポーツ推進委員	人	26	25	25	値が大きいほど良い 効果は変わらない

(5) 費用対効果結果（自動判定）

費用（R6とR5の一般財源増減）	効果（R6とR5の指標値増減）	費用の増減無し	※ 10万円以上の増減により判断					効果
		効果が上がった指標数	0指標					
		効果は変わらない指標数	1指標					
		効果が下がった指標数	0指標					
		指標全体	効果は変わらない					

費用	効果が上がった	効果は変わらない	効果が下がった
	費用は下がった		
	費用の増減無し	○	

4. 次年度に向けた検討

(1) 令和6年度の事業実施における反省点、環境変化や関係者からの意見等を踏まえた検討課題、費用対効果向上のための課題

特記事項なし

(2) 上記反省点及び課題を踏まえた、令和7年度及び令和8年度の取組

取組説明	
<input type="checkbox"/> 事業の在り方検討（廃止、休止、再編成、受益者負担の見直しなど）	
<input type="checkbox"/> 事業効果を上げるための事務改善の検討	
<input type="checkbox"/> 事業費の見直し検討	
<input type="checkbox"/> 業務時間効率化のための事務改善の検討	
<input checked="" type="checkbox"/> 特に検討事項無し（現状維持又は現状の計画通り）	

仕事の振り返りシート（令和6年度実施分）

作成・更新日 令和7年12月1日

事業名	全国大会等出場者支援事業	実施計画事業or一般事業	一般事業	市長公約	該当なし	総合戦略	該当なし	
		施策横断的な取組との関連性	SDGs	該当なし	コンパクトシティ	該当なし	スマートシティ	該当なし

1. 基本情報

担当組織	部	産業文化スポーツ部	予算中事業名	予算科目	会計	一般	事業計画	単年度繰り返し
	課	スポーツ推進課	全国大会等出場者支援事業		款	10	新規or継続	継続事業
	係	市民スポーツ係			項	5	市単独or国県補助	市単独事業
政策体系	体系コード	2221	名称	佐野市全国大会出場祝金交付要領	目	1	義務or任意	任意的事業
	基本目標	2	新たな流れの創造による賑わうまちづくり		事業期間	開始年度	S 58	実施方法
	政策	2	スポーツを軸とした人々が集まるまちづくり		期間	終了年度		直営
	施策	2	生涯スポーツ・競技スポーツの振興とスポーツ環境の整備					事業分類
	基本事業	1	生涯スポーツの推進					現金等給付事業

2. 事業概要と目的及び（基本計画期間内）目標値

(1) 事業概要

事業概要	全国大会規模以上のスポーツ大会に出場する選手、監督等を激励するとともに、祝金を交付する。
------	--

(2) 目的

目的 (本事業によって成し遂げたい状態)	全国大会規模以上のスポーツ大会に出場する選手、監督等を激励するとともに、本市のスポーツ振興の推進を図る。	効果指標	単位	R3	R4	R5	R6	R7
		全国大会出場件数	件	165	120	130	140	165

3. 前年度の実績（活動及び費用対効果）説明

(1) 活動実績

活動実績 (R6年度に行なった主な活動内容)	全国大会等出場祝金交付件数 全国大会 307件 アジア・世界大会 3件	活動指標	単位	R4	R5	R6		
		祝金交付件数	件	294	310	156		
		事業費計	千円	3,320	2,870	4,000		
		一般財源	千円	3,320	2,870	4,000		
		特定財源（国・県・他）	千円					
		(うち受益者負担)	千円					

(3) 活動による効果

効果説明 (定量及び定性)	全国レベル以上で活躍する選手を激励するで、さらなる飛躍の動機付けとなり、また、周囲に良い影響を与えることからスポーツ振興に繋がる。	効果指標	単位	R4	R5	R6	指標の性質	R5とR6の比較
		全国大会出場件数	件	294	355	156	値が大きいほど良い	効果が下がった

(5) 費用対効果結果（自動判定）

費用（R6とR5の一般財源増減）	費用が増加した	※ 10万円以上の増減により判断			効果		
効果（R6とR5の指標値増減）	効果が上がった指標数	0指標			効果が上がった	効果は変わらない	効果が下がった
	効果は変わらない指標数	0指標					
	効果が下がった指標数	1指標					
	指標全体	効果が下がった					

費用	効果が上がった	効果は変わらない	効果が下がった

4. 次年度に向けた検討

(1) 令和6年度の事業実施における反省点、環境変化や関係者からの意見等を踏まえた検討課題、費用対効果向上のための課題

申請漏れのないよう、さらなる制度の周知が必要である。

(2) 上記反省点及び課題を踏まえた、令和7年度及び令和8年度の取組

取組説明

- 事業の在り方検討（廃止、休止、再編成、受益者負担の見直しなど）
- 事業効果を上げるための事務改善の検討
- 事業費の見直し検討
- 業務時間効率化のための事務改善の検討
- 特に検討事項無し（現状維持又は現状の計画通り）

仕事の振り返りシート（令和6年度実施分）

作成・更新日 令和7年12月1日

事業名	市民体育祭開催事業	実施計画事業or一般事業	一般事業	市長公約	該当なし	総合戦略	該当なし	
		施策横断的な取組との関連性	SDGs	該当あり	コンパクトシティ	該当なし	スマートシティ	該当なし

1. 基本情報

担当組織	部	産業文化スポーツ部	予算中事業名	予算科目	会計	一般	事業計画	単年度繰り返し	
	課	スポーツ推進課	市民体育祭開催事業		款	10	新規or継続	継続事業	
	係	市民スポーツ係			項	5	市単独or国県補助	市単独事業	
政策体系	体系コード	2221	名称		目	1	義務or任意	任意的事業	
	基本目標	2	新たな流れの創造による賑わうまちづくり		事業期間	開始年度	H17	実施方法	
	政策	2	スポーツを軸とした人々が集まるまちづくり		終了年度			直営	
	施策	2	生涯スポーツ・競技スポーツの振興とスポーツ環境の整備					事業分類	
	基本事業	1	生涯スポーツの推進					イベント等開催事業	

2. 事業概要と目的及び（基本計画期間内）目標値

(1) 事業概要

事業概要	スポーツ協会19支部を14チームに再編し支部対抗戦で各競技を開催する。
------	-------------------------------------

(2) 目的

目的 (本事業によって成し遂げたい状態)	「市民一人1スポーツ」の推進と、スポーツを通じて健康維持・増進を図る。	効果指標	単位	R3	R4	R5	R6	R7
		週に1回以上運動している割合	%	50	43	46	48	50

3. 前年度の実績（活動及び費用対効果）説明

(1) 活動実績

活動実績 (R6年度に行なった主な活動内容)	総合競技、球技等に区分し、野球、バレーボール等18種目で市民スポーツ大会を開催した。	活動指標	単位	R4	R5	R6		
		競技種目数	種目	0	16	18		
		事業費計	千円	617	1,886	2,007		
		一般財源	千円	617	663			
		特定財源（国・県・他）	千円		1,223	2,007		
		（うち受益者負担）	千円					

(3) 活動による効果

効果説明 (定量及び定性)	支部単位による編制となっていることから、市民間の交流が図られると共に市民一人1スポーツの推進に繋がる。	効果指標	単位	R4	R5	R6	指標の性質	R5とR6の比較
		週に1回以上運動している割合	%	39	41	40	値が大きいほど良い	効果が下がった

(5) 費用対効果結果（自動判定）

費用（R6とR5の一般財源増減）	効果（R6とR5の指標値増減）	※ 10万円以上の増減により判断			効果		
効果	効果が上がった指標数	0指標			効果が上がった	効果は変わらない	効果が下がった
効果（R6とR5の指標値増減）	効果は変わらない指標数	0指標					
効果	効果が下がった指標数	1指標					
効果（R6とR5の指標値増減）	指標全体	効果が下がった					

4. 次年度に向けた検討

(1) 令和6年度の事業実施における反省点、環境変化や関係者からの意見等を踏まえた検討課題、費用対効果向上のための課題

競技によっては、参加出来ない支部もあり、要項等の検討が必要である。

(2) 上記反省点及び課題を踏まえた、令和7年度及び令和8年度の取組

取組説明		
各関係団体等と参加方法等の検討が必要である。		

- 事業の在り方検討（廃止、休止、再編成、受益者負担の見直しなど）
- 事業効果を上げるための事務改善の検討
- 事業費の見直し検討
- 業務時間効率化のための事務改善の検討
- 特に検討事項無し（現状維持又は現状の計画通り）

仕事の振り返りシート（令和6年度実施分）

作成・更新日 令和7年12月1日

事業名	市民駅伝競走大会開催支援事業	実施計画事業or一般事業	一般事業	市長公約	該当なし	総合戦略	該当なし
		施策横断的な取組との関連性	SDGs	該当あり	コンパクトシティ	該当なし	スマートシティ

1. 基本情報

担当組織	部	産業文化スポーツ部	予算中事業名	予算 科目	会計	一般	事業計画	単年度繰り返し	
	課	スポーツ推進課	市民駅伝競走大会開催支援事業		款	10	新規or継続	継続事業	
	係	市民スポーツ係			項	5	市単独or国県補助	市単独事業	
政策体系	体系コード	2221	名称	佐野市市民駅伝競走大会 交付金交付要領	目	1	義務or任意	任意的事業	
	基本目標	2	新たな流れの創造による賑わうまちづくり		事業	開始年度	H17	実施方法	
	政策	2	スポーツを軸とした人々が集まるまちづくり		期間	終了年度		直営	
	施策	2	生涯スポーツ・競技スポーツの振興とスポーツ環境の整備				事業分類	支援事業	
	基本事業	1	生涯スポーツの推進						

2. 事業概要と目的及び（基本計画期間内）目標値

(1) 事業概要

事業概要	スポーツ協会各支部対抗（19支部を14支部に再編）による市民駅伝大会開催を支援する。
------	--

(2) 目的

目的 (本事業によって成し遂げたい状態)	スポーツ協会各支部の小学生から壮年まで幅広い年齢層で結成されたチームで競う駅伝競走大会を実施し、地域の親睦を深め、縛を強めるとともに明るく住みよい地域社会づくりに目的とする。	効果指標	単位	R3	R4	R5	R6	R7
		参加チーム数	チーム	14	14	14	7	7

3. 前年度の実績（活動及び費用対効果）説明

(1) 活動実績

活動実績 (R6年度に行なった主な活動内容)	第20回佐野市民駅伝競走大会 開催日 令和6年11月10日（日） コース 清酒開華スタジアム及び運動公園敷地内特設コース 10.2km 区間 6区間 開催基準を満たしていただけたため、当初の予定通り大会実施	活動指標	単位	R4	R5	R6	
		参加チーム数	チーム	-	8	8	

(2) 活動を説明する数値データ及び事業費の推移

↓選択して下さい

効果説明 (定量及び定性)	支部によるチーム編成は、地域の親睦を深めると共にスポーツ振興に繋がる。	事業費計	千円	500	500	100	
		一般財源	千円	500	500	100	
		特定財源（国・県・他）	千円				
		（うち受益者負担）	千円				

(3) 活動による効果

(4) 事業効果を説明する数値データの推移

効果説明 (定量及び定性)	支部によるチーム編成は、地域の親睦を深めると共にスポーツ振興に繋がる。	効果指標	単位	R4	R5	R6	指標の性質 R5とR6の比較
		参加チーム数	チーム	4	8	8	値が大きいほど良い 効果は変わらない

(5) 費用対効果結果（自動判定）

費用（R6とR5の一般財源増減）	費用は下がった	※10万円以上の増減により判断			
		効果指標	単位	R4	R5
		参加チーム数	チーム	4	8

費用	効果が上がった	効果は変わらない	効果が下がった
	費用は下がった	○	
	費用の増減無し		

4. 次年度に向けた検討

(1) 令和6年度の事業実施における反省点、環境変化や関係者からの意見等を踏まえた検討課題、費用対効果向上のための課題

各支部において選手の確保が難しい状況であり、参加チーム数の関係で大会を開催できていないことから、要項やコース設定等検討が必要である。
--

(2) 上記反省点及び課題を踏まえた、令和7年度及び令和8年度の取組

取組説明
大会が開催できるよう、要項やコース等を検討する必要がある。

- 事業の在り方検討（廃止、休止、再編成、受益者負担の見直しなど）
- 事業効果を上げるための事務改善の検討
- 事業費の見直し検討
- 業務時間効率化のための事務改善の検討
- 特に検討事項無し（現状維持又は現状の計画通り）

仕事の振り返りシート（令和6年度実施分）

作成・更新日 令和7年12月1日

事業名	栃木県スポーツ推進委員協議会参画事業	実施計画事業or一般事業	一般事業	市長公約	該当なし	総合戦略	該当なし
		施策横断的な取組との関連性	SDGs	コンパクトシティ	該当なし	スマートシティ	該当なし

1. 基本情報

担当組織	部	産業文化スポーツ部	予算中事業名	予算科目	会計	一般	事業計画	単年度繰り返し	
	課	スポーツ推進課	栃木県スポーツ推進委員協議会参画事業		款	10	新規or継続	継続事業	
	係	市民スポーツ係			項	5	市単独or国県補助	市単独事業	
政策体系	体系コード	2221	名称	スポーツ基本法	目	1	義務or任意	任意的事業	
	基本目標	2	新たな流れの創造による賑わうまちづくり		事業期間	開始年度	H 18	実施方法	
	政策	2	スポーツを軸とした人々が集まるまちづくり		期間	終了年度		直営	
	施策	2	生涯スポーツ・競技スポーツの振興とスポーツ環境の整備					事業分類	
	基本事業	1	生涯スポーツの推進					参画事業	

2. 事業概要と目的及び（基本計画期間内）目標値

(1) 事業概要

事業概要	栃木県スポーツ推進委員協議会に参加し、他自治体のスポーツ推進委員と情報交換・交流・研修を図る。
------	---

(2) 目的

目的 (本事業によって成し遂げたい状態)	佐野市スポーツ推進委員が栃木県スポーツ推進委員協議会に参加することにより、県内のスポーツ推進委員との情報の共有と交流・研修を図ることを目的としている。	効果指標	単位	R3	R4	R5	R6	R7
		スポーツ推進委員	人	30	30	30	30	30

3. 前年度の実績（活動及び費用対効果）説明

(1) 活動実績

活動実績 (R6年度に行った主な活動内容)	栃木県スポーツ推進委員協議会に参画した。	活動指標	単位	R4	R5	R6	
		県協議会参加数	回	5	8	8	
		事業費計	千円	52	50	50	
		一般財源	千円	52	50	50	
		特定財源（国・県・他）	千円				
(うち受益者負担)		千円					

(3) 活動による効果

効果説明 (定量及び定性)	県内のスポーツ推進委員と交流・意見交換をすることは、推進委員の事業展開を図る上で優良である。	効果指標	単位	R4	R5	R6	指標の性質 R5とR6の比較
		スポーツ推進委員	人	26	25	25	値が大きいほど良い 効果は変わらない

(5) 費用対効果結果（自動判定）

費用（R6とR5の一般財源増減）	費用の増減無し	※ 10万円以上の増減により判断				効果
効果（R6とR5の指標値増減）	効果が上がった指標数	0指標				効果が上がった
	効果は変わらない指標数	1指標				効果は変わらない
	効果が下がった指標数	0指標				効果が下がった
	指標全体	効果は変わらない				

費用	効果が上がった	効果は変わらない	効果が下がった

4. 次年度に向けた検討

(1) 令和6年度の事業実施における反省点、環境変化や関係者からの意見等を踏まえた検討課題、費用対効果向上のための課題

特記事項なし

(2) 上記反省点及び課題を踏まえた、令和7年度及び令和8年度の取組

取組説明

- 事業の在り方検討（廃止、休止、再編成、受益者負担の見直しなど）
- 事業効果を上げるための事務改善の検討
- 事業費の見直し検討
- 業務時間効率化のための事務改善の検討
- 特に検討事項無し（現状維持又は現状の計画通り）

仕事の振り返りシート（令和6年度実施分）

作成・更新日 令和7年12月1日

事業名	生涯スポーツ指導者育成事業	実施計画事業or一般事業	実施計画事業	市長公約	該当なし	総合戦略	該当あり
		施策横断的な取組との関連性	SDGs	該当あり	コンパクトシティ	該当なし	スマートシティ

1. 基本情報

担当組織	部	産業文化スポーツ部	予算中事業名	予算 科目	会計	一般	事業計画	単年度繰り返し	
	課	スポーツ推進課	生涯スポーツ指導者育成事業		款	10	新規or継続	継続事業	
	係	市民スポーツ係			項	5	市単独or国県補助	市単独事業	
政策体系	体系コード	2221	名称	佐野市スポーツ指導者育成 事業補助金交付要綱	目	1	義務or任意	任意的事業	
	基本目標	2	新たな流れの創造による賑わうまちづくり		事業	開始年度	S 58	実施方法	
	政策	2	スポーツを軸とした人々が集まるまちづくり		期間	終了年度		直営	
	施策	2	生涯スポーツ・競技スポーツの振興とスポーツ環境の整備				事業分類	人材育成事業	
	基本事業	1	生涯スポーツの推進						

2. 事業概要と目的及び（基本計画期間内）目標値

(1) 事業概要

事業概要	生涯スポーツ指導者指導員資格取得費用の一部に対し補助金を交付する。
------	-----------------------------------

(2) 目的

目的 (本事業によって成し遂げたい 状態)	市民一人1スポーツを推進するため、指導者の育成を図る。	効果指標	単位	R3	R4	R5	R6	R7
		市スポーツ指導者登録数	人	15	30	40	50	60

3. 前年度の実績（活動及び費用対効果）説明

(1) 活動実績

活動実績 (R6年度に 行った主な活 動内容)	生涯スポーツ指導者指導員資格取得費用の一部に対し補助。 交付件数 2件	活動指標	単位	R4	R5	R6		
		講習会開催数	回	3	2	0		
		補助金申請件数	件	4	6	2		
		事業費計	千円	138	138	30		
		一般財源	千円					
		特定財源（国・県・他）	千円					
		（うち受益者負担）	千円					

(3) 活動による効果

効果説明 (定量及び 定性)	スポーツ指導者の資質向上及び確保はスポーツの振興に寄与す る。	効果指標	単位	R4	R5	R6	指標の性質	R5とR6の比較
		市スポーツ指導者登録数	人	97	111	110	値が大きいほど良い	効果が下がった

(5) 費用対効果結果（自動判定）

費用（R6とR5の一般財源増減）	※ 10万円以上の増減により判断			効果
効果 (R6とR5の 指標値増減)	効果が上がった指標数	0指標		効果が上がった
	効果は変わらない指標数	0指標		効果は変わらない
	効果が下がった指標数	1指標		効果が下がった
	指標全体	効果が下がった		
			費用は下がった	
			費用の増減無し	
			費用が増加した	

4. 次年度に向けた検討

(1) 令和6年度の事業実施における反省点、環境変化や関係者からの意見等を踏まえた検討課題、費用対効果向上のための課題

他事業と連携し、スポーツ指導者の登録制度の検討が必要である。

(2) 上記反省点及び課題を踏まえた、令和7年度及び令和8年度の取組

取組説明
指導者確保のために、スポーツ指導者育成事業補助金の充実が必要である。

- 事業の在り方検討（廃止、休止、再編成、受益者負担の見直しなど）
- 事業効果を上げるための事務改善の検討
- 事業費の見直し検討
- 業務時間効率化のための事務改善の検討
- 特に検討事項無し（現状維持又は現状の計画通り）

仕事の振り返りシート（令和6年度実施分）

作成・更新日 令和7年12月1日

事業名	町会運動会開催支援事業	実施計画事業or一般事業	一般事業	市長公約	該当なし	総合戦略	該当なし
		施策横断的な取組との関連性	SDGs	該当あり	コンパクトシティ	該当なし	スマートシティ

1. 基本情報

担当組織	部	産業文化スポーツ部	予算中事業名	予算 科目	会計	一般	事業計画	単年度繰り返し	
	課	スポーツ推進課	町会運動会開催支援事業		款	10	新規or継続	継続事業	
	係	市民スポーツ係			項	5	市単独or国県補助	市単独事業	
政策体系	体系コード	2221	名称	佐野市町会運動会 開催奨励金交付要綱	目	1	義務or任意	任意的事業	
	基本目標	2	新たな流れの創造による賑わうまちづくり		事業	開始年度	H17	実施方法	
	政策	2	スポーツを軸とした人々が集まるまちづくり		期間	終了年度		直営	
	施策	2	生涯スポーツ・競技スポーツの振興とスポーツ環境の整備				事業分類	支援事業	
	基本事業	1	生涯スポーツの推進						

2. 事業概要と目的及び（基本計画期間内）目標値

(1) 事業概要

事業概要	町会が開催する運動会に対し、奨励金を交付する。
------	-------------------------

(2) 目的

目的 (本事業によって成し遂げたい状態)	町会が開催する運動会に対し、奨励金を交付することにより、市民一人1スポーツの推進を図り、もって市民の健康維持・増進と、明るいまちづくりに寄与することを目的とする。	効果指標	単位	R3	R4	R5	R6	R7
		週に1回以上運動している割合	%	50	43	46	48	50

3. 前年度の実績（活動及び費用対効果）説明

(1) 活動実績

活動実績 (R6年度に行なった主な活動内容)	3 6町会に対して奨励金を交付を行った。	活動指標	単位	R4	R5	R6		
		奨励金交付町会数	町会	6	27	36		
		事業費計	千円	110	300	500		
		一般財源	千円	110	300	500		
		特定財源（国・県・他）	千円					
		（うち受益者負担）	千円					

(3) 活動による効果

効果説明 (定量及び定性)	スポーツ協会を支援することは、市民の体位向上並びに各競技団体等の強化に繋がり、スポーツ振興が図られる。	効果指標	単位	R4	R5	R6	指標の性質	R5とR6の比較
		週に1回以上運動している割合	%	52	54	40	値が大きいほど良い	効果が下がった

(5) 費用対効果結果（自動判定）

費用（R6とR5の一般財源増減）	費用が増加した	※ 10万円以上の増減により判断			効果		
効果（R6とR5の指標値増減）	効果が上がった指標数	0指標			効果が上がった	効果は変わらない	効果が下がった
	効果は変わらない指標数	0指標					
	効果が下がった指標数	1指標					
	指標全体	効果が下がった					
			費用は下がった				
			費用の増減無し				
			費用が増加した				○

4. 次年度に向けた検討

(1) 令和6年度の事業実施における反省点、環境変化や関係者からの意見等を踏まえた検討課題、費用対効果向上のための課題

特記事項なし

(2) 上記反省点及び課題を踏まえた、令和7年度及び令和8年度の取組

<input type="checkbox"/> 事業の在り方検討（廃止、休止、再編成、受益者負担の見直しなど）	取組説明
<input checked="" type="checkbox"/> 事業効果を上げるための事務改善の検討	未実施の町会に対する検討が必要。

- 事業費の見直し検討
- 業務時間効率化のための事務改善の検討
- 特に検討事項無し（現状維持又は現状の計画通り）

仕事の振り返りシート（令和6年度実施分）

作成・更新日 令和7年12月1日

事業名	県南五市対抗親善総合競技大会参画事業	実施計画事業or一般事業	一般事業	市長公約	該当なし	総合戦略	該当なし	
		施策横断的な取組との関連性	SDGs	該当あり	コンパクトシティ	該当なし	スマートシティ	該当なし

1. 基本情報

担当組織	部	産業文化スポーツ部	予算中事業名	予算 科目	会計	一般	事業計画	単年度繰り返し	
	課	スポーツ推進課	県南五市対抗親善総合競技大会参画事業		款	10	新規or継続	継続事業	
	係	市民スポーツ係			項	5	市単独or国県補助	市単独事業	
政策体系	体系コード	2221	名称		目	1	義務or任意	任意的事業	
	基本目標	2	新たな流れの創造による賑わうまちづくり		事業	開始年度	S24	実施方法	
	政策	2	スポーツを軸とした人々が集まるまちづくり		期間	終了年度		直営	
	施策	2	生涯スポーツ・競技スポーツの振興とスポーツ環境の整備					事業分類	
	基本事業	1	生涯スポーツの推進					参画事業	

2. 事業概要と目的及び（基本計画期間内）目標値

(1) 事業概要

事業概要	県南五市対抗親善総合競技大会に参画する。
------	----------------------

(2) 目的

目的 (本事業によって成し遂げたい状態)	小山市、真岡市、栃木市、足利市、佐野市の5市及び教育委員会、スポーツ協会の主催による親善を目的として総合競技大会を開催する。	効果指標	単位	R3	R4	R5	R6	R7
		本市参加者数	人	0	200	200	200	200

3. 前年度の実績（活動及び費用対効果）説明

(1) 活動実績

活動実績 (R6年度に行なった主な活動内容)	第78回県南五市対抗親善総合競技大会 開催日 令和6年6月30日(日)、7月7日(日) 会場 足利市内スポーツ施設 競技種目 野球、陸上等 15種目 18競技	活動指標	単位	R4	R5	R6	
		競技種目	種目	16	17	15	
		事業費計	千円	403	644	455	
		一般財源	千円	403	561	455	
		特定財源(国・県・他)	千円		83		
		(うち受益者負担)	千円		83		

(3) 活動による効果

効果説明 (定量及び定性)	多種目で行われる大会であり、市民一人1スポーツの推進に繋がる。	効果指標	単位	R4	R5	R6	↓選択して下さい
		本市参加者数	人	217	322	280	値が大きいほど良い 効果が下がった

(5) 費用対効果結果（自動判定）

費用（R6とR5の一般財源増減）	費用は下がった	※10万円以上の増減により判断			効果
効果（R6とR5の指標値増減）	効果が上がった指標数	0指標			効果が上がった
	効果は変わらない指標数	0指標			効果は変わらない
	効果が下がった指標数	1指標			効果が下がった
	指標全体	効果が下がった			

費用	効果が上がった	効果は変わらない	効果が下がった

4. 次年度に向けた検討

(1) 令和6年度の事業実施における反省点、環境変化や関係者からの意見等を踏まえた検討課題、費用対効果向上のための課題

同時に他大会も開催されるなど、各競技団体による選手選考が課題となっている。

(2) 上記反省点及び課題を踏まえた、令和7年度及び令和8年度の取組

取組説明

- 事業の在り方検討（廃止、休止、再編成、受益者負担の見直しなど）
- 事業効果を上げるための事務改善の検討
- 事業費の見直し検討
- 業務時間効率化のための事務改善の検討
- 特に検討事項無し（現状維持又は現状の計画通り）

仕事の振り返りシート（令和6年度実施分）

作成・更新日 令和7年12月1日

事業名	県南四市対抗親善スキー大会開催事業	実施計画事業or一般事業	一般事業	市長公約	該当なし	総合戦略	該当なし	
		施策横断的な取組との関連性	SDGs	該当あり	コンパクトシティ	該当なし	スマートシティ	該当なし

1. 基本情報

担当組織	部	産業文化スポーツ部	予算中事業名	予算科目	会計	一般	事業計画	単年度繰り返し	
	課	スポーツ推進課	県南四市対抗親善スキー大会開催事業		款	10	新規or継続	継続事業	
	係	市民スポーツ係			項	5	市単独or国県補助	市単独事業	
政策体系	体系コード	2221	名称		目	1	義務or任意	任意的事業	
	基本目標	2	新たな流れの創造による賑わうまちづくり		事業期間	開始年度	S.33	実施方法	
	政策	2	スポーツを軸とした人々が集まるまちづくり		終了年度			直営	
	施策	2	生涯スポーツ・競技スポーツの振興とスポーツ環境の整備					事業分類	
	基本事業	1	生涯スポーツの推進					参画事業	

2. 事業概要と目的及び（基本計画期間内）目標値

(1) 事業概要

事業概要	県南四市対抗親善スキー大会に参画する。
------	---------------------

(2) 目的

目的 (本事業によって成し遂げたい状態)	足利市、小山市、栃木市、佐野市の4市及び教育委員会、スポーツ協会主催による親善を目的としてスキー大会に参画する。	効果指標	単位	R3	R4	R5	R6	R7
		本市参加者数	人	24	24	24	24	24

3. 前年度の実績（活動及び費用対効果）説明

(1) 活動実績

活動実績 (R6年度に行なった主な活動内容)	第72回県南四市対抗親善スキー大会 開催日 令和7年2月16日（日） 会場 会津高原だいらスキー場 種目 大回転 1本	活動指標	単位	R4	R5	R6		
		大会参加者数	人	-	72	70		
		事業費計	千円	0	78	90		
		一般財源	千円		78	90		
		特定財源（国・県・他）	千円					
		（うち受益者負担）	千円					

(3) 活動による効果

効果説明 (定量及び定性)	県南四市の親善及び市民一人1スポーツの推進が図られる。	効果指標	単位	R4	R5	R6	指標の性質	R5とR6の比較
		本市参加者数	人	-	21	15	値が大きいほど良い	効果が下がった

(5) 費用対効果結果（自動判定）

費用（R6とR5の一般財源増減）	費用の増減無し	※ 10万円以上の増減により判断			効果
効果（R6とR5の指標値増減）	効果が上がった指標数	0指標			効果が上がった
	効果は変わらない指標数	0指標			効果は変わらない
	効果が下がった指標数	1指標			効果が下がった
	指標全体	効果が下がった			○

4. 次年度に向けた検討

(1) 令和6年度の事業実施における反省点、環境変化や関係者からの意見等を踏まえた検討課題、費用対効果向上のための課題

市外での開催となるため、参加者負担金が増加傾向である。

(2) 上記反省点及び課題を踏まえた、令和7年度及び令和8年度の取組

取組説明	
<input type="checkbox"/> 事業の在り方検討（廃止、休止、再編成、受益者負担の見直しなど）	
<input type="checkbox"/> 事業効果を上げるための事務改善の検討	
<input type="checkbox"/> 事業費の見直し検討	
<input type="checkbox"/> 業務時間効率化のための事務改善の検討	
<input checked="" type="checkbox"/> 特に検討事項無し（現状維持又は現状の計画通り）	

仕事の振り返りシート（令和6年度実施分）

作成・更新日 令和7年12月1日

事業名	県民スポーツ大会参加事業	実施計画事業or一般事業	一般事業	市長公約	該当なし	総合戦略	該当なし	
		施策横断的な取組との関連性	SDGs	該当あり	コンパクトシティ	該当なし	スマートシティ	該当なし

1. 基本情報

担当組織	部	産業文化スポーツ部	予算中事業名	予算科目	会計	一般	事業計画	単年度繰り返し	
	課	スポーツ推進課	県民スポーツ大会参加事業		款	10	新規or継続	継続事業	
	係	市民スポーツ係			項	5	市単独or国県補助	市単独事業	
政策体系	体系コード	2221	名称		目	1	義務or任意	任意的事業	
	基本目標	2	新たな流れの創造による賑わうまちづくり		事業期間	開始年度	S 59	実施方法	
	政策	2	スポーツを軸とした人々が集まるまちづくり		終了年度			直営	
	施策	2	生涯スポーツ・競技スポーツの振興とスポーツ環境の整備					事業分類	
	基本事業	1	生涯スポーツの推進					支援事業	

2. 事業概要と目的及び（基本計画期間内）目標値

(1) 事業概要

事業概要	県民スポーツ大会に参画する。
------	----------------

(2) 目的

目的 (本事業によって成し遂げたい状態)	「県民ひとり1スポーツの推進」をスローガンとして、広く県民の間にスポーツを振興し、生涯にわたり健康や体力の保持増進を図るとともに、連帯感あふれた地域づくりに寄与する。	効果指標	単位	R3	R4	R5	R6	R7
		本市代表選手数	人	336	336	336	336	336

3. 前年度の実績（活動及び費用対効果）説明

(1) 活動実績

活動実績 (R6年度に行なった主な活動内容)	栃木県民スポーツ大会 開催日 令和6年10月20日（日）、10月27日（日） 会場 栃木県総合運動公園 他 種目 対抗競技 陸上競技、軟式野球等 17競技 オープン競技 ラグビー 5競技	活動指標	単位	R4	R5	R6	
		開催競技数		-	24	23	
		事業費計	千円	0	197	379	
		一般財源	千円		197	379	
		特定財源（国・県・他）	千円				
		（うち受益者負担）	千円				

(3) 活動による効果

効果説明 (定量及び定性)	多種目で行われる大会であり、市民一人1スポーツの推進に繋がる。	効果指標	単位	R4	R5	R6	↓選択して下さい
		本市代表選手数	人	-	229	226	値が大きいほど良い効果が下がった

(5) 費用対効果結果（自動判定）

費用（R6とR5の一般財源増減）	費用が増加した	※ 10万円以上の増減により判断				効果
効果（R6とR5の指標値増減）	効果が上がった指標数	0指標				効果が上がった
	効果は変わらない指標数	0指標				効果は変わらない
	効果が下がった指標数	1指標				効果が下がった
	指標全体	効果が下がった				○

4. 次年度に向けた検討

(1) 令和6年度の事業実施における反省点、環境変化や関係者からの意見等を踏まえた検討課題、費用対効果向上のための課題

特記事項なし

(2) 上記反省点及び課題を踏まえた、令和7年度及び令和8年度の取組

取組説明		
<input type="checkbox"/> 事業の在り方検討（廃止、休止、再編成、受益者負担の見直しなど）	<input type="checkbox"/> 事業効果を上げるための事務改善の検討	<input type="checkbox"/> 事業費の見直し検討

- 業務時間効率化のための事務改善の検討
- 特に検討事項無し（現状維持又は現状の計画通り）

仕事の振り返りシート（令和6年度実施分）

作成・更新日 令和7年12月1日

事業名	関東スポーツ推進委員研究会参画事業	実施計画事業or一般事業	一般事業	市長公約	該当なし	総合戦略	該当なし	
		施策横断的な取組との関連性	SDGs	該当あり	コンパクトシティ	該当なし	スマートシティ	該当なし

1. 基本情報

担当組織	部	産業文化スポーツ部	予算中事業名	予算科目	会計	一般	事業計画	単年度繰り返し	
	課	スポーツ推進課	関東スポーツ推進委員研究会参画事業		款	10	新規or継続	継続事業	
	係	市民スポーツ係			項	5	市単独or国県補助	市単独事業	
政策体系	体系コード	2221	名称	スポーツ基本法	目	1	義務or任意	任意的事業	
	基本目標	2	新たな流れの創造による賑わうまちづくり		事業期間	開始年度	H 18	実施方法	
	政策	2	スポーツを軸とした人々が集まるまちづくり		終了年度			直営	
	施策	2	生涯スポーツ・競技スポーツの振興とスポーツ環境の整備					事業分類	
	基本事業	1	生涯スポーツの推進					参画事業	

2. 事業概要と目的及び（基本計画期間内）目標値

(1) 事業概要

事業概要	関東スポーツ推進委員研究会に参加し、他自治体のスポーツ推進委員と情報交換・交流・研修を図る。
------	--

(2) 目的

目的 (本事業によって成し遂げたい状態)	佐野市スポーツ推進委員が関東スポーツ推進委員協議会に参画することにより、関東のスポーツ推進委員との情報の共有と交流・研修を図ることを目的としている。	効果指標	単位	R3	R4	R5	R6	R7
		スポーツ推進委員	人	30	30	30	30	30

3. 前年度の実績（活動及び費用対効果）説明

(1) 活動実績

活動実績 (R6年度に行なった主な活動内容)	関東スポーツ推進委員研究大会 千葉大会 に参加した。	活動指標	単位	R4	R5	R6		
		関東協議会参加者数	人	0	6	8		
		事業費計	千円	0	24	24		
		一般財源	千円		24	24		
		特定財源（国・県・他）	千円					
		（うち受益者負担）	千円					

(3) 活動による効果

効果説明 (定量及び定性)	関東地方のスポーツ推進委員と交流・意見交換をすることは、推進委員の事業展開を図る上で優良である。	効果指標	単位	R4	R5	R6	指標の性質	R5とR6の比較
		スポーツ推進委員	人	26	25	25	値が大きいほど良い	効果は変わらない

(5) 費用対効果結果（自動判定）

費用（R6とR5の一般財源増減）	費用の増減無し	※ 10万円以上の増減により判断			効果
効果（R6とR5の指標値増減）	効果が上がった指標数	0指標			効果が上がった
	効果は変わらない指標数	1指標			効果は変わらない
	効果が下がった指標数	0指標			効果が下がった
	指標全体	効果は変わらない			
			費用は下がった		
			費用の増減無し	○	
			費用が増加した		

4. 次年度に向けた検討

(1) 令和6年度の事業実施における反省点、環境変化や関係者からの意見等を踏まえた検討課題、費用対効果向上のための課題

（2）上記反省点及び課題を踏まえた、令和7年度及び令和8年度の取組

- 事業の在り方検討（廃止、休止、再編成、受益者負担の見直しなど）
- 事業効果を上げるための事務改善の検討
- 事業費の見直し検討
- 業務時間効率化のための事務改善の検討
- 特に検討事項無し（現状維持又は現状の計画通り）

取組説明

仕事の振り返りシート（令和6年度実施分）

作成・更新日 令和7年12月1日

事業名	スポーツ指導者活用事業	実施計画事業or一般事業	実施計画事業	市長公約	該当なし	総合戦略	該当なし
		施策横断的な取組との関連性	SDGs	該当あり	コンパクトシティ	該当なし	スマートシティ

1. 基本情報

担当組織	部	産業文化スポーツ部	予算中事業名	予算 科目	会計	一般	事業計画	単年度繰り返し	
	課	スポーツ推進課	スポーツ指導者活用事業		款	10	新規or継続	継続事業	
	係	市民スポーツ係			項	5	市単独or国県補助	市単独事業	
政策体系	体系コード	2222	名称		目	1	義務or任意	任意的事業	
	基本目標	2	新たな流れの創造による賑わうまちづくり		事業	開始年度	R4	実施方法	
	政策	2	スポーツを軸とした人々が集まるまちづくり		期間	終了年度		一部委託	
	施策	2	生涯スポーツ・競技スポーツの振興とスポーツ環境の整備					事業分類	
	基本事業	2	競技スポーツの推進					人材育成事業	

2. 事業概要と目的及び（基本計画期間内）目標値

(1) 事業概要

事業概要	競技・生涯スポーツ振興のため、スポーツ指導者の登録制度を構築し、主に中学校部活動地域移行団体（地域クラブ）の要請に応じて指導者を紹介する。
------	---

(2) 目的

目的 (本事業によって成し遂げたい状態)	競技・生涯スポーツ振興のため、スポーツ指導者の登録制度を構築し、地域スポーツ団体の要請に応じて指導者を紹介する。併せて中学校部活動についても指導者を紹介する。	効果指標	単位	R3	R4	R5	R6	R7
		市スポーツ指導者登録数	人	15	30	40	50	60

3. 前年度の実績（活動及び費用対効果）説明

(1) 活動実績

活動実績 (R6年度に行なった主な活動内容)	部活動地域移行に関する情報収集を行った。	活動指標	単位	R4	R5	R6		
		講師派遣回数	回	0	0	0		
		事業費計	千円	0	0	0		
		一般財源	千円					
		特定財源（国・県・他）	千円					
		（うち受益者負担）	千円					

(3) 活動による効果

効果説明 (定量及び定性)	部活動地域移行との連携を図る必要がある。	効果指標	単位	R4	R5	R6	指標の性質	R5とR6の比較
		市スポーツ指導者登録数	人	97	111	110	値が大きいほど良い	効果が下がった

(4) 事業効果を説明する数値データの推移

↓選択して下さい

費用（R6とR5の一般財源増減）	効果（R6とR5の指標値増減）	効果指標	単位	R4	R5	R6	指標の性質	R5とR6の比較
		市スポーツ指導者登録数	人	97	111	110	値が大きいほど良い	効果が下がった

(5) 費用対効果結果（自動判定）

費用（R6とR5の一般財源増減）	効果（R6とR5の指標値増減）	※ 10万円以上の増減により判断	効果					
			効果が上がった	効果は変わらない	効果が下がった			

4. 次年度に向けた検討

(1) 令和6年度の事業実施における反省点、環境変化や関係者からの意見等を踏まえた検討課題、費用対効果向上のための課題

部活動地域移行との連携を図る必要がある。

(2) 上記反省点及び課題を踏まえた、令和7年度及び令和8年度の取組

取組説明
部活動地域移行の状況を見ながら事業の方向性を修正する必要がある。

- 事業の在り方検討（廃止、休止、再編成、受益者負担の見直しなど）
- 事業効果を上げるために事務改善の検討
- 事業費の見直し検討
- 業務時間効率化のために事務改善の検討
- 特に検討事項無し（現状維持又は現状の計画通り）

仕事の振り返りシート（令和6年度実施分）

作成・更新日 令和7年12月1日

事業名	競技スポーツ強化事業	実施計画事業or一般事業	実施計画事業	市長公約	該当なし	総合戦略	該当あり	
		施策横断的な取組との関連性	SDGs	該当あり	コンパクトシティ	該当なし	スマートシティ	該当なし

1. 基本情報

担当組織	部	産業文化スポーツ部	予算中事業名	予算 科目	会計	一般	事業計画	単年度繰り返し	
	課	スポーツ推進課	競技スポーツ強化事業		款	10	新規or継続	継続事業	
	係	市民スポーツ係			項	5	市単独or国県補助	市単独事業	
政策体系	体系コード	2222	名称	佐野市スポーツ推進基本計画 佐野市スポーツ強化事業補助金 交付要領	目	1	義務or任意	任意的事業	
	基本目標	2	新たな流れの創造による賑わうまちづくり		事業	開始年度	H 28	実施方法	
	政策	2	スポーツを軸とした人々が集まるまちづくり		期間	終了年度		一部委託	
	施策	2	生涯スポーツ・競技スポーツの振興とスポーツ環境の整備					事業分類	
	基本事業	2	競技スポーツの推進					その他市民に対する事業	

2. 事業概要と目的及び（基本計画期間内）目標値

(1) 事業概要

事業概要	児童・生徒を対象に競技力向上が図れる講習会・練習会を実施する。
------	---------------------------------

(2) 目的

目的 (本事業によって成し遂げたい状態)	各競技スポーツの競技力向上を図り、本市スポーツ振興の更なる発展に寄与するため、各競技の競技力向上図る。	効果指標	単位	R3	R4	R5	R6	R7
		全国大会出場件数	件	165	120	130	140	165

3. 前年度の実績（活動及び費用対効果）説明

(1) 活動実績

活動実績 (R6年度に行なった主な活動内容)	○SAQトレーニング講習会 中学生を対象にS A Q（スピード（速さ）、アジリティ（敏捷性）、クリックネス（俊敏性））トレーニングを実施した。 実施校：葛生義務教育学校、赤見中学校、田沼東中学校 参加者：200名 ○ソフトテニス講習会 市内中学校のソフトテニス部（各校男女3ペア）を対象に、ソフトテニス連盟と共にソフトテニス講習会を実施した。 参加者：150名	活動指標	単位	R4	R5	R6
		講習会開催数	回	6	3	4
		事業費計	千円	199	72	300
		一般財源	千円	199	72	300
		特定財源（国・県・他）	千円			
		（うち受益者負担）	千円			

(3) 活動による効果

効果説明 (定量及び定性)	基礎能力の向上のため、中学生を対象にS A Qトレーニングを実施することは、競技力向上に効果があると考える。	効果指標	単位	R4	R5	R6	指標の性質 R5とR6の比較
		全国大会出場件数	件	294	355	156	値が大きいほど良い 効果が下がった

(5) 費用対効果結果（自動判定）

費用（R6とR5の一般財源増減）	費用が増加した	※ 10万円以上の増減により判断				効果
効果（R6とR5の指標値増減）	効果が上がった指標数	0指標				効果が上がった
	効果は変わらない指標数	0指標				効果は変わらない
	効果が下がった指標数	1指標				効果が下がった
	指標全体	効果が下がった				○

4. 次年度に向けた検討

(1) 令和6年度の事業実施における反省点、環境変化や関係者からの意見等を踏まえた検討課題、費用対効果向上のための課題

市内全中学校等で講習会が開催できるよう関係機関と調整を必要である。

(2) 上記反省点及び課題を踏まえた、令和7年度及び令和8年度の取組

取組説明
市内全中学校等で講習会が開催できるよう関係機関と調整を必要である。

- 事業の在り方検討（廃止、休止、再編成、受益者負担の見直しなど）
- 事業効果を上げるための事務改善の検討
- 事業費の見直し検討
- 業務時間効率化のための事務改善の検討
- 特に検討事項無し（現状維持又は現状の計画通り）

仕事の振り返りシート（令和6年度実施分）

作成・更新日 令和7年12月1日

事業名	アリーナたぬま等指定管理事業	実施計画事業or一般事業	一般事業	市長公約	該当なし	総合戦略	該当なし	
		施策横断的な取組との関連性	SDGs	該当なし	コンパクトシティ	該当なし	スマートシティ	該当なし

1. 基本情報

担当組織	部	産業文化スポーツ部	予算中事業名	予算 科目	会計	一般	事業計画	単年度繰り返し
	課	スポーツ推進課	アリーナたぬま等指定管理事業		款	10	新規or継続	継続事業
	係	スポーツ施設係			項	5	市単独or国県補助	市単独事業
政策体系	体系コード	2223	名称	根拠法令、条例等	目	2	義務or任意	任意的事業
	基本目標	2	新たな流れの創造による賑わうまちづくり		事業	開始年度	H20	実施方法
	政策	2	スポーツを軸とした人々が集まるまちづくり	条例施行規則	期間	終了年度		指定管理者
	施策	2	生涯スポーツ・競技スポーツの振興とスポーツ環境の整備		佐野市都市公園条例及び同			施設維持管理事業
	基本事業	3	スポーツ施設の整備と運営		条例施行規則			

2. 事業概要と目的及び（基本計画期間内）目標値

(1) 事業概要

事業概要	平成20年からアリーナたぬま、葛生武道館、中運動公園、葛生農業者トレーニングセンターの4施設を平成22年度から田沼グリーンスポーツセンター、田沼総合運動場、田沼西運動場の3施設を指定管理者により管理していたが、平成28年度より併せて7施設を指定管理者により一括管理としている。
------	--

(2) 目的

目的 (本事業によって成し遂げたい状態)	・利用者が安全で快適に利用できる施設・設備環境の整備が図られる。 ・市民ニーズに対応したサービスの提供	効果指標	単位	R3	R4	R5	R6	R7
		指定管理施設利用者数	人	185,000	185,000	185,000	185,000	185,000
		安全に使用できる市有スポーツ施設数	施設	38	41	41	41	41

3. 前年度の実績（活動及び費用対効果）説明

(1) 活動実績

活動実績 (R6年度に 行った主な活 動内容)	・指定管理者：NPO法人日本スポーツ振興協会 (令和4年度から令和8年度(5年間)) ・施設の修繕 ・指定管理業務の監視 ・指定管理者への指導、助言	活動指標	単位	R4	R5	R6		
		指定管理施設数	施設	7	7	7		
		修繕件数	件	11	15	11		
		事業費計	千円	0	74,409	75,624		
		一般財源	千円		74,409	72,650		
		特定財源(国・県・他)	千円			2,974		
		(うち受益者負担)	千円					

(3) 活動による効果

効果説明 (定量及び定性)	市有スポーツ施設を良好な状態を維持する。 市有スポーツ施設の利用促進を図る。	効果指標	単位	R4	R5	R6	指標の性質	R5とR6の比較
		指定管理施設利用者数	人	122,634	181,417	182,639	値が大きいほど良い	効果が上がった
		安全に使用できる市有スポーツ施設数	施設	41	41	41	値が大きいほど良い	効果は変わらない

(5) 費用対効果結果（自動判定）

費用（R6とR5の一般財源増減）	費用は下がった	※ 10万円以上の増減により判断			効果
効果 (R6とR5の 指標値増減)	効果が上がった指標数 1指標				効果が上がった
	効果は変わらない指標数 1指標				効果は変わらない
	効果が下がった指標数 0指標				効果が下がった
	指標全体 効果が上がった				

4. 次年度に向けた検討

(1) 令和6年度の事業実施における反省点、環境変化や関係者からの意見等を踏まえた検討課題、費用対効果向上のための課題

いずれの施設も開設から年数が経ち、施設の改修や設備の更新が必要となっている。 施設利用に支障が無いように、効率的な施設管理、修繕等を実施していく必要がある。

(2) 上記反省点及び課題を踏まえた、令和7年度及び令和8年度の取組

取組説明
施設利用に支障が無いよう、施設の管理、修繕等を実施する。

- 事業の在り方検討（廃止、休止、再編成、受益者負担の見直しなど）
- 事業効果を上げるための事務改善の検討
- 事業費の見直し検討
- 業務時間効率化のための事務改善の検討
- 特に検討事項無し（現状維持又は現状の計画通り）

仕事の振り返りシート（令和6年度実施分）

作成・更新日 令和7年12月1日

事業名	スポーツカレンダー作成事業	実施計画事業or一般事業	一般事業	市長公約	該当なし	総合戦略	該当なし
		施策横断的な取組との関連性	SDGs	該当なし	コンパクトシティ	該当なし	スマートシティ

1. 基本情報

担当組織	部	産業文化スポーツ部	予算中事業名	予算 科目	会計	一般	事業計画	単年度繰り返し	
	課	スポーツ推進課	スポーツカレンダー作成事業		款	10	新規or継続	継続事業	
	係	スポーツ施設係			項	5	市単独or国県補助	市単独事業	
政策体系	体系コード	2223	名称		目	1	義務or任意	任意的事業	
	基本目標	2	新たな流れの創造による賑わうまちづくり		事業	開始年度	S60	直営	
	政策	2	スポーツを軸とした人々が集まるまちづくり		期間	終了年度		事業分類	
	施策	2	生涯スポーツ・競技スポーツの振興とスポーツ環境の整備					啓発事業	
	基本事業	3	スポーツ施設の整備と運営						

2. 事業概要と目的及び（基本計画期間内）目標値

(1) 事業概要

事業概要	・年間のスポーツ・レクリエーション大会の日程・会場等を掲載したスポーツカレンダーを作成し、市ホームページにて公開、体育施設・公民館にて配布し、市民への周知を図る。
------	---

(2) 目的

目的 (本事業によって成し遂げたい状態)	スポーツに関する情報を広く市民に周知を図る	効果指標	単位	R3	R4	R5	R6	R7
		スポーツ等に親しんでいる市民の割合	%	50	43	46	48	50

3. 前年度の実績（活動及び費用対効果）説明

(1) 活動実績

活動実績 (R6年度に行なった主な活動内容)	・施設利用に関する日程調整会議（1月）、府内印刷によりカレンダー作成（3月）、市ホームページにて公開、体育施設・公民館にて配布（4月）	活動指標	単位	R4	R5	R6		
		カレンダー作成数	枚	3,000	3,000	1,000		
		ホームページに公開	回	1	1	1		
		事業費計	千円	3	5	5		
		一般財源	千円	3	5	5		
		特定財源（国・県・他）	千円					
		（うち受益者負担）	千円					

(3) 活動による効果

効果説明 (定量及び定性)	週に1回以上スポーツに親しむ	効果指標	単位	R4	R5	R6	指標の性質	R5とR6の比較
		スポーツ等に親しんでいる市民の割合	%	39.2	41.4	40.2	値が大きいほど良い	効果が下がった

(5) 費用対効果結果（自動判定）

費用（R6とR5の一般財源増減）	費用の増減無し	※ 10万円以上の増減により判断			効果
効果（R6とR5の指標値増減）	効果が上がった指標数	0指標			効果が上がった
	効果は変わらない指標数	0指標			効果は変わらない
	効果が下がった指標数	1指標			効果が下がった
	指標全体	効果が下がった			○

4. 次年度に向けた検討

(1) 令和6年度の事業実施における反省点、環境変化や関係者からの意見等を踏まえた検討課題、費用対効果向上のための課題

施設の改修等により使用できない施設が発生するため、日程調整や周知を行う必要がある。

(2) 上記反省点及び課題を踏まえた、令和7年度及び令和8年度の取組

取組説明		
<input type="checkbox"/> 事業の在り方検討（廃止、休止、再編成、受益者負担の見直しなど）		
<input type="checkbox"/> 事業効果を上げるための事務改善の検討		
<input type="checkbox"/> 事業費の見直し検討		
<input type="checkbox"/> 業務時間効率化のための事務改善の検討		
<input checked="" type="checkbox"/> 特に検討事項無し（現状維持又は現状の計画通り）		

仕事の振り返りシート（令和6年度実施分）

作成・更新日 令和7年12月1日

事業名	スポーツ医科学センター整備事業	実施計画事業or一般事業	実施計画事業	市長公約	1-②	総合戦略	該当あり
		施策横断的な取組との関連性	SDGs	該当あり	コンパクトシティ	該当なし	スマートシティ

1. 基本情報

担当組織	部	総合政策部	予算中事業名	会計	一般	事業計画	単年度のみ
	課	政策調整課			款	2 新規or継続	新規事業
	係	政策調整課			項	1 市単独or国県補助	市単独事業
政策体系	体系コード	2223	名称 根拠法令、条例等	事業期間	目	7 義務or任意	任意的事業
	基本目標	2 新たな流れの創造による賑わうまちづくり			開始年度	令和6年度	実施方法
	政策	2 スポーツを軸とした人々が集まるまちづくり			終了年度		直営
	施策	2 生涯スポーツ・競技スポーツの振興とスポーツ環境の整備					事業分類
	基本事業	3 スポーツ施設の整備と運営					施設等整備事業

2. 事業概要と目的及び（基本計画期間内）目標値

(1) 事業概要

事業概要	スポーツ医科学センターを整備し、データに基づき、市民一人ひとりにあった運動を促すことにより、市民の健康維持・改善に寄与する。
------	--

(2) 目的

目的 (本事業によって成し遂げたい状態)	スポーツ医科学センターを整備し、データに基づき、市民一人ひとりにあった運動を促すことにより、市民の健康維持・改善に寄与する。	効果指標	単位	R3	R4	R5	R6	R7
		健康づくりに取り組んでいる市民の割合	%		75.0	75.5	76.0	76.5
		週に1回以上スポーツ・レクリエーションに親しんでいる市民の割合	%		43.0	46.0	48.0	50.0

3. 前年度の実績（活動及び費用対効果）説明

(1) 活動実績

活動実績 (R6年度に行なった主な活動内容)	なし（検討を行ったものの、国の交付金を活用した官民連携事業としてR7年度に改めて実施することとした）。	活動指標	単位	R4	R5	R6	
		整備した施設数				0	
		整備した器具類等				0	
		事業費計	千円	0	0	0	
		一般財源	千円			0	
		特定財源（国・県・他）	千円			0	
		（うち受益者負担）	千円			0	

(3) 活動による効果

効果説明 (定量及び定性)	なし	効果指標	単位	R4	R5	R6	指標の性質	R5とR6の比較
		健康づくりに取り組んでいる市民の割合	%	73.5	75.2	72.6	値が大きいほど良い	効果が下がった
		週に1回以上スポーツ・レクリエーションに親しんでいる市民の割合	%	39.2	41.4	40.2	値が大きいほど良い	効果が下がった

(5) 費用対効果結果（自動判定）

費用（R6とR5の一般財源増減）	費用の増減無し	※ 10万円以上の増減により判断				効果
効果（R6とR5の指標値増減）	効果が上がった指標数	0指標				効果が上がった
	効果は変わらない指標数	0指標				効果は変わらない
	効果が下がった指標数	2指標				効果が下がった
	指標全体	効果が下がった				○

4. 次年度に向けた検討

(1) 令和6年度の事業実施における反省点、環境変化や関係者からの意見等を踏まえた検討課題、費用対効果向上のための課題

スポーツ医学センターについては、国の交付金を活用し、官民連携の形を強めた実証事業を含めて実施していく。

(2) 上記反省点及び課題を踏まえた、令和7年度及び令和8年度の取組

取組説明	
<input checked="" type="checkbox"/> 事業の在り方検討（廃止、休止、再編成、受益者負担の見直しなど）	R7年度に実証事業を実施したうえで、整備する。

- 事業効果を上げるための事務改善の検討
- 事業費の見直し検討
- 業務時間効率化のための事務改善の検討
- 特に検討事項無し（現状維持又は現状の計画通り）

仕事の振り返りシート（令和6年度実施分）

作成・更新日 令和7年12月1日

事業名	体育施設・学校開放施設貸出事務	実施計画事業or一般事業	一般事業	市長公約	該当なし	総合戦略	該当なし
		施策横断的な取組との関連性	SDGs	該当なし	コンパクトシティ	該当なし	スマートシティ

1. 基本情報

担当組織	部	産業文化スポーツ部	予算中事業名	予算科目	会計	一般	事業計画	単年度繰り返し	
	課	スポーツ推進課	体育施設・学校開放施設貸出事務		款	10	新規or継続	継続事業	
	係	スポーツ施設係			項	5	市単独or国県補助	市単独事業	
政策体系	体系コード	2223	名称	佐野市都市公園条例、佐野市体育施設条例、佐野市学校等施設開放規則	目	2	義務or任意	任意的事業	
	基本目標	2	新たな流れの創造による賑わうまちづくり		事業期間	開始年度	実施方法	直営	
	政策	2	スポーツを軸とした人々が集まるまちづくり		終了年度		事業分類	施設維持管理事業	
	施策	2	生涯スポーツ・競技スポーツの振興とスポーツ環境の整備						
	基本事業	3	スポーツ施設の整備と運営						

2. 事業概要と目的及び（基本計画期間内）目標値

(1) 事業概要

事業概要	・市内体育施設及び学校開放施設の利用申請において、円滑に施設貸出の手続きを進めるため、各施設の利用申請書の作成を行う。
------	---

(2) 目的

目的 (本事業によって成し遂げたい状態)	・体育施設並びに屋内、屋外の学校体育施設を円滑に利用できるようにする。	効果指標	単位	R3	R4	R5	R6	R7
		公共スポーツ施設の延べ利用者数（学校開放を除く）	人	350,000	350,000	450,000	470,000	470,000
		学校開放登録団体数	団体	274	240	218	240	240

3. 前年度の実績（活動及び費用対効果）説明

(1) 活動実績

活動実績 (R6年度に行なった主な活動内容)	・市内体育施設及び学校開放施設の利用申請において、円滑に施設貸出の手続きを進めるために、各施設の利用申請書の作成を行なう。	活動指標	単位	R4	R5	R6		
		体育施設数		41	41	41		
		学校開放施設数（屋内・屋外）		56	54	46		
		事業費計	千円	110	92	72		
		一般財源	千円	110	92	72		
		特定財源（国・県・他）	千円					
		(うち受益者負担)	千円					

(3) 活動による効果

効果説明 (定量及び定性)	・体育施設並びに屋内、屋外の学校体育施設を円滑に利用できるようにする。	効果指標	単位	R4	R5	R6	指標の性質	R5とR6の比較
		公共スポーツ施設の延べ利用者数（学校開放を除く）	人	355,475	462,351	426,296	値が大きいほど良い	効果が下がった
		学校開放登録団体数	団体	240	218	229	値が大きいほど良い	効果が上がった

(5) 費用対効果結果（自動判定）

費用（R6とR5の一般財源増減）	効果（R6とR5の指標値増減）	費用の増減無し	※ 10万円以上の増減により判断					効果
		1指標						
		0指標						
		1指標						
		効果は変わらない						

費用	効果が上がった	効果は変わらない	効果が下がった
	費用は下がった		
	費用の増減無し	○	

4. 次年度に向けた検討

(1) 令和6年度の事業実施における反省点、環境変化や関係者からの意見等を踏まえた検討課題、費用対効果向上のための課題

特になし

(2) 上記反省点及び課題を踏まえた、令和7年度及び令和8年度の取組

取組説明	
<input type="checkbox"/> 事業の在り方検討（廃止、休止、再編成、受益者負担の見直しなど）	
<input type="checkbox"/> 事業効果を上げるための事務改善の検討	
<input type="checkbox"/> 事業費の見直し検討	
<input type="checkbox"/> 業務時間効率化のための事務改善の検討	
<input checked="" type="checkbox"/> 特に検討事項無し（現状維持又は現状の計画通り）	

仕事の振り返りシート（令和6年度実施分）

作成・更新日 令和7年12月1日

事業名	学校開放事業	実施計画事業or一般事業	一般事業	市長公約	該当なし	総合戦略	該当なし
		施策横断的な取組との関連性	SDGs	該当なし	コンパクトシティ	該当なし	スマートシティ

1. 基本情報

担当組織	部	産業文化スポーツ部	予算中事業名	予算科目	会計	一般	事業計画	単年度繰り返し
	課	スポーツ推進課	学校開放事業		款	10	新規or継続	継続事業
	係	スポーツ施設係			項	5	市単独or国県補助	市単独事業
政策体系	体系コード	2223	名称	佐野市学校等施設開放規則	目	2	義務or任意	任意的事業
	基本目標	2	新たな流れの創造による賑わうまちづくり		事業期間	開始年度	実施方法	直営
	政策	2	スポーツを軸とした人々が集まるまちづくり		期間	終了年度	事業分類	施設維持管理事業
	施策	2	生涯スポーツ・競技スポーツの振興とスポーツ環境の整備					
	基本事業	3	スポーツ施設の整備と運営					

2. 事業概要と目的及び（基本計画期間内）目標値

(1) 事業概要

事業概要	・市立小中学校及び義務教育学校の施設（体育館27施設、校庭18施設、武道場3施設）及び若宮球場の夜間開放に係る運営と校庭の夜間照明施設の維持管理を行う事業。
------	--

(2) 目的

目的 (本事業によって成し遂げたい状態)	・市民が身近な学校施設を活用し、各施設を不都合なく安全に利用できる。	効果指標	単位	R3	R4	R5	R6	R7
		年間延べ利用日数	日	3,000	3,000	4,000	5,400	5,400

(3) 目標値

3. 前年度の実績（活動及び費用対効果）説明

(1) 活動実績

活動実績 (R6年度に行なった主な活動内容)	・維持管理：校庭の夜間照明施設の修繕、電気料の支払い。 ・運営：運営委員会から提出された登録申請書の管理を行う。各学校からの行事予定報告を日程表に記載し、各運営委員会へ送付する。（運営委員会は各団体の施設利用日程を調整し、日程表を作成し提出。）提出された日程表を各学校、管理人へ送付する。利用後は、各管理人から実績の報告があり、報告に基づき報酬の支払いをする。その他問い合わせ等の対応をする。	活動指標	単位	R4	R5	R6		
		年間延べ利用日数	日	2,312	5,337	5,402		
		年間修繕件数	件	2	6	8		
		事業費計	千円	4,808	5,749	6,508		
		一般財源	千円	4,808	5,549	0		
		特定財源（国・県・他）	千円		200	6,508		
		（うち受益者負担）	千円					

(4) 事業効果を説明する数値データの推移

↓選択して下さい

効果説明 (定量及び定性)	・市民が身近な学校施設を活用することにより、市民一人1スポーツを推進する。	効果指標	単位	R4	R5	R6	指標の性質	R5とR6の比較
		年間延べ利用日数	日	2,312	5,337	5,402	値が大きいほど良い	効果が上がった

(5) 費用対効果結果（自動判定）

費用（R6とR5の一般財源増減）	費用は下がった	※ 10万円以上の増減により判断			効果
効果（R6とR5の指標値増減）	効果が上がった指標数	1指標			効果が上がった
	効果は変わらない指標数	0指標			効果は変わらない
	効果が下がった指標数	0指標			効果が下がった
	指標全体	効果が上がった			
			費用は下がった	○	費用は下がった
			費用の増減無し		費用の増減無し
			費用が増加した		費用が増加した

4. 次年度に向けた検討

(1) 令和6年度の事業実施における反省点、環境変化や関係者からの意見等を踏まえた検討課題、費用対効果向上のための課題

市内小学校と中学校の統廃合が行われ、義務教育学校が開校されることにより、使用できる施設数の減少が今後見込まれている。このことから、1施設ごとの利用率の維持及び向上の取り組みが必要となる。

(2) 上記反省点及び課題を踏まえた、令和7年度及び令和8年度の取組

取組説明
体育館の改修工事や義務教育学校への統合等が今後予定されていることから、利用者への周知を行うなど対応する。

- 事業の在り方検討（廃止、休止、再編成、受益者負担の見直しなど）
- 事業効果を上げるための事務改善の検討
- 事業費の見直し検討
- 業務時間効率化のための事務改善の検討
- 特に検討事項無し（現状維持又は現状の計画通り）

仕事の振り返りシート（令和6年度実施分）

作成・更新日 令和7年12月1日

事業名	学校開放体育施設運営委員会活動事業	実施計画事業or一般事業	一般事業	市長公約	該当なし	総合戦略	該当なし
		施策横断的な取組との関連性	SDGs	該当なし	コンパクトシティ	該当なし	スマートシティ

1. 基本情報

担当組織	部	産業文化スポーツ部	予算中事業名	予算科目	会計	一般	事業計画	単年度繰り返し	
	課	スポーツ推進課	学校開放体育施設運営委員会活動事業		款	10	新規or継続	継続事業	
	係	スポーツ施設係			項	5	市単独or国県補助	市単独事業	
政策体系	体系コード	2223	名称	佐野市学校等施設開放規則	目	2	義務or任意	任意的事業	
	基本目標	2	新たな流れの創造による賑わうまちづくり		事業期間	開始年度	実施方法	直営	
	政策	2	スポーツを軸とした人々が集まるまちづくり		期間	終了年度	事業分類	支援事業	
	施策	2	生涯スポーツ・競技スポーツの振興とスポーツ環境の整備						
	基本事業	3	スポーツ施設の整備と運営						

2. 事業概要と目的及び（基本計画期間内）目標値

(1) 事業概要

事業概要	・学校開放事業において、学校の夜間開放に係る日程調整などの運営に対して運営委員会を組織し、市民が円滑にスポーツを行うことができるようとする。 ・運営委員会は、佐野市スポーツ協会の支部ごとに設置され、区域内の夜間開放施設の日程調整、管理人の選定を行う。
------	--

(2) 目的

目的 (本事業によって成し遂げたい状態)	・屋内、屋外の学校体育施設を利用する団体の日程調整を図り、円滑に利用できるようにする。	効果指標	単位	R3	R4	R5	R6	R7
		運営委員会数	団体	19	16	16	16	16
		学校開放利用登録者数	人	4,500	4,000	3,500	3,500	3,500

3. 前年度の実績（活動及び費用対効果）説明

(1) 活動実績

活動実績 (R6年度に行なった主な活動内容)	(市の活動) 各支部の運営委員会に交付金の支出 (運営委員会の活動) 毎月の夜間開放施設の日程を調整し、市に報告。管理人選定。	活動指標	単位	R4	R5	R6		
		運営委員会数	団体	16	16	16		
		運営委員会の開催回数	回	12	12	12		
		事業費計	千円	277	277	277		
		一般財源	千円	277	277	277		
		特定財源（国・県・他）	千円					
		（うち受益者負担）	千円					

(3) 活動による効果

効果説明 (定量及び定性)	市有スポーツ施設を良好な状態を維持する。 市有スポーツ施設の利用促進を図る。	効果指標	単位	R4	R5	R6	指標の性質	R5とR6の比較
		運営委員会数	団体	16	16	16	値が大きいほど良い	効果は変わらない
		学校開放利用登録者数	人	3,943	3,439	3,531	値が大きいほど良い	効果が上がった

(5) 費用対効果結果（自動判定）

費用（R6とR5の一般財源増減）	費用の増減無し	※ 10万円以上の増減により判断	効果			↓選択して下さい
			効果が上がった	効果は変わらない	効果が下がった	
			1指標			
			1指標			
			0指標			

4. 次年度に向けた検討

(1) 令和6年度の事業実施における反省点、環境変化や関係者からの意見等を踏まえた検討課題、費用対効果向上のための課題

市内小学校と中学校の統廃合が行われ、義務教育学校が開校されることにより、使用できる施設数の減少が今後見込まれている。
--

(2) 上記反省点及び課題を踏まえた、令和7年度及び令和8年度の取組

取組説明	
<input type="checkbox"/> 事業の在り方検討（廃止、休止、再編成、受益者負担の見直しなど） <input type="checkbox"/> 事業効果を上げるための事務改善の検討 <input type="checkbox"/> 事業費の見直し検討 <input type="checkbox"/> 業務時間効率化のための事務改善の検討 <input checked="" type="checkbox"/> 特に検討事項無し（現状維持又は現状の計画通り）	

仕事の振り返りシート（令和6年度実施分）

作成・更新日 令和7年12月1日

事業名	栃木県体育施設協会参画事業	実施計画事業or一般事業	一般事業	市長公約	該当なし	総合戦略	該当なし	
		施策横断的な取組との関連性	SDGs	該当なし	コンパクトシティ	該当なし	スマートシティ	該当なし

1. 基本情報

担当組織	部	産業文化スポーツ部	予算中事業名	予算科目	会計	一般	事業計画	単年度繰り返し	
	課	スポーツ推進課	栃木県体育施設協会参画事業		款	10	新規or継続	継続事業	
	係	スポーツ施設係			項	5	市単独or国県補助	市単独事業	
政策体系	体系コード	2223	名称		目	1	義務or任意	任意的事業	
	基本目標	2	新たな流れの創造による賑わうまちづくり		事業期間	開始年度	実施方法	直営	
	政策	2	スポーツを軸とした人々が集まるまちづくり		終了年度		事業分類	参画事業	
	施策	2	生涯スポーツ・競技スポーツの振興とスポーツ環境の整備						
	基本事業	3	スポーツ施設の整備と運営						

2. 事業概要と目的及び（基本計画期間内）目標値

(1) 事業概要

事業概要	・栃木県体育施設協会へ参画し、協議会主催の会議や研修に参加することにより、体育施設に関する情報収集や意見交換を行っている。 ・栃木県体育施設協会とは、県内の体育施設の適切な運営管理について協議し、体育の振興に寄与することを目的として、県内市町の自治体や体育施設を管理する事業者等を会員として構成している団体である。
------	--

(2) 目的

目的 (本事業によって成し遂げたい状態)	・県内各地の体育施設管理者（協会会員）と情報交換することにより、佐野市内の体育施設の維持管理の向上が図れる。	効果指標	単位	R3	R4	R5	R6	R7
		安全に使用できる市有スポーツ施設数	施設	38	41	41	41	41

3. 前年度の実績（活動及び費用対効果）説明

(1) 活動実績

活動実績 (R6年度に行なった主な活動内容)	(市の活動) 栃木県体育施設協会に負担金の支出、年2回の会議の参加を行う。 (栃木県体育施設協会の活動) 年2回の会議、全国会議・研修会2回の参加、関東会議・研修会2回の参加、その他研修会の開催、会員市等への情報提供・交換を行う。	活動指標	単位	R4	R5	R6		
		会議への出席回数	回	2	1	1		
		事業費計	千円	4	4	4		
		一般財源	千円	4	4	4		
		特定財源（国・県・他）	千円					
		（うち受益者負担）	千円					

(3) 活動による効果

効果説明 (定量及び定性)	市有スポーツ施設を良好な状態を維持する。 市有スポーツ施設の利用促進を図る。	効果指標	単位	R4	R5	R6	指標の性質	R5とR6の比較
		安全に使用できる市有スポーツ施設数	施設	41	41	41	値が大きいほど良い	効果は変わらない

(5) 費用対効果結果（自動判定）

費用（R6とR5の一般財源増減）	費用の増減無し	※ 10万円以上の増減により判断			効果
効果（R6とR5の指標値増減）	効果が上がった指標数	0指標			効果が上がった
	効果は変わらない指標数	1指標			効果は変わらない
	効果が下がった指標数	0指標			効果が下がった
	指標全体	効果は変わらない			○
			費用は下がった	費用の増減無し	費用が増加した

4. 次年度に向けた検討

(1) 令和6年度の事業実施における反省点、環境変化や関係者からの意見等を踏まえた検討課題、費用対効果向上のための課題

特になし

(2) 上記反省点及び課題を踏まえた、令和7年度及び令和8年度の取組

取組説明
<input type="checkbox"/> 事業の在り方検討（廃止、休止、再編成、受益者負担の見直しなど） <input type="checkbox"/> 事業効果を上げるための事務改善の検討 <input type="checkbox"/> 事業費の見直し検討 <input type="checkbox"/> 業務時間効率化のための事務改善の検討 <input checked="" type="checkbox"/> 特に検討事項無し（現状維持又は現状の計画通り）

仕事の振り返りシート（令和6年度実施分）

作成・更新日 令和7年12月1日

事業名	渡良瀬川ふれあいスポーツ広場維持管理事業	実施計画事業or一般事業	一般事業	市長公約	該当なし	総合戦略	該当なし
		施策横断的な取組との関連性	SDGs	該当なし	コンパクトシティ	該当なし	スマートシティ

1. 基本情報

担当組織	部	産業文化スポーツ部	予算中事業名	予算科目	会計	一般	事業計画	単年度繰り返し	
	課	スポーツ推進課	渡良瀬川ふれあいスポーツ広場維持管理事業		款	10	新規or継続	継続事業	
	係	スポーツ施設係			項	5	市単独or国県補助	市単独事業	
政策体系	体系コード	2223	名称	佐野市体育施設条例及び同条例施行規則	目	2	義務or任意	任意的事業	
	基本目標	2	新たな流れの創造による賑わうまちづくり		事業期間	開始年度	H20	実施方法	
	政策	2	スポーツを軸とした人々が集まるまちづくり		期間	終了年度		直営	
	施策	2	生涯スポーツ・競技スポーツの振興とスポーツ環境の整備					事業分類	
	基本事業	3	スポーツ施設の整備と運営					施設維持管理事業	

2. 事業概要と目的及び（基本計画期間内）目標値

(1) 事業概要

事業概要	・市民がスポーツ・レクリエーションを楽しめる場所を確保するため、渡良瀬川河川敷の一部を占用許可を受け、ふれあいスポーツ広場として市民に開放し、快適な利用ができるよう広場の維持管理をする。
------	---

(2) 目的

目的 (本事業によって成し遂げたい状態)	・利用者が安全で快適に利用できる施設・設備環境の整備が図られる。	効果指標	単位	R3	R4	R5	R6	R7
		利用者数	人	5,024	5,014	4,601	5,500	5,500
		安全に使用できる市有スポーツ施設数	施設	38	41	41	41	41

3. 前年度の実績（活動及び費用対効果）説明

(1) 活動実績

活動実績 (R6年度に行なった主な活動内容)	・市民がスポーツ・レクリエーションを楽しめる場所を確保するため、渡良瀬川河川敷の一部の占用許可を受け、ふれあいスポーツ広場として市民に開放し、快適な利用ができるよう広場の維持管理をする。 ・河川占用許可の更新。	活動指標	単位	R4	R5	R6		
		管理委託件数	件	0	0	0		
		事業費計	千円	0	0	0		
		一般財源	千円					
		特定財源（国・県・他）	千円					
		(うち受益者負担)	千円					

(3) 活動による効果

効果説明 (定量及び定性)	市有スポーツ施設を良好な状態を維持する。 市有スポーツ施設の利用促進を図る。	効果指標	単位	R4	R5	R6	指標の性質	R5とR6の比較
		利用者数	人	5,014	4,601	4,367	値が大きいほど良い	効果が下がった
		安全に使用できる市有スポーツ施設数	施設	41	41	41	値が大きいほど良い	効果は変わらない

(4) 事業効果を説明する数値データの推移

↓選択して下さい

(5) 費用対効果結果（自動判定）

費用（R6とR5の一般財源増減）	効果指標			効果	効果が上がった指標数	効果は変わらない指標数	効果が下がった指標数	R5とR6の比較
	利用者数	事業費計	一般財源					
効果（R6とR5の指標値増減）	効果が上がった指標数	0指標						
	効果は変わらない指標数	1指標						
	効果が下がった指標数	1指標						
	指標全体	効果が下がった						

4. 次年度に向けた検討

(1) 令和6年度の事業実施における反省点、環境変化や関係者からの意見等を踏まえた検討課題、費用対効果向上のための課題

特になし

(2) 上記反省点及び課題を踏まえた、令和7年度及び令和8年度の取組

取組説明		
<input type="checkbox"/> 事業の在り方検討（廃止、休止、再編成、受益者負担の見直しなど）	<input type="checkbox"/> 事業効果を上げるための事務改善の検討	<input type="checkbox"/> 事業費の見直し検討

- 業務時間効率化のための事務改善の検討
- 特に検討事項無し（現状維持又は現状の計画通り）

仕事の振り返りシート（令和6年度実施分）

作成・更新日 令和7年12月1日

事業名	渡良瀬川緑地運動施設維持管理事業	実施計画事業or一般事業	一般事業	市長公約	該当なし	総合戦略	該当なし	
		施策横断的な取組との関連性	SDGs	該当なし	コンパクトシティ	該当なし	スマートシティ	該当なし

1. 基本情報

担当組織	部	産業文化スポーツ部	予算中事業名	予算科目	会計	一般	事業計画	単年度繰り返し
	課	スポーツ推進課	渡良瀬川緑地運動施設維持管理事業		款	10	新規or継続	継続事業
	係	スポーツ施設係			項	5	市単独or国県補助	市単独事業
政策体系	体系コード	2223	名称	佐野市体育施設条例及び同条例施行規則	目	2	義務or任意	任意的事業
	基本目標	2	新たな流れの創造による賑わうまちづくり		事業期間	開始年度	H15	実施方法
	政策	2	スポーツを軸とした人々が集まるまちづくり		期間	終了年度		直営
	施策	2	生涯スポーツ・競技スポーツの振興とスポーツ環境の整備					事業分類
	基本事業	3	スポーツ施設の整備と運営					施設維持管理事業

2. 事業概要と目的及び（基本計画期間内）目標値

(1) 事業概要

事業概要	・渡良瀬川緑地にある野球場1面、ソフトボール場4面、運動広場2面の維持管理。
------	--

(2) 目的

目的 (本事業によって成し遂げたい状態)	・利用者が安全で快適に利用できる施設・設備環境の整備が図られる。	効果指標	単位	R3	R4	R5	R6	R7
		利用者数	人	12,646	13,609	13,519	14,000	14,000
		安全に使用できる市有スポーツ施設数	施設	38	41	41	41	41

3. 前年度の実績（活動及び費用対効果）説明

(1) 活動実績

活動実績 (R6年度に行なった主な活動内容)	・野球場1面、ソフトボール場4面、運動広場2面の維持管理。	活動指標	単位	R4	R5	R6		
		利用者数	人	13,609	13,519	16,472		
		事業費計	千円	2,468	3,121	3,478		
		一般財源	千円	2,468	3,121	3,478		
		特定財源（国・県・他）	千円					
		(うち受益者負担)	千円					

(3) 活動による効果

効果説明 (定量及び定性)	市有スポーツ施設を良好な状態を維持する。 市有スポーツ施設の利用促進を図る。	効果指標	単位	R4	R5	R6	指標の性質	R5とR6の比較
		利用者数	人	13,609	13,519	16,472	値が大きいほど良い	効果が上がった
		安全に使用できる市有スポーツ施設数	施設	41	41	41	値が大きいほど良い	効果は変わらない

(5) 費用対効果結果（自動判定）

費用（R6とR5の一般財源増減）	費用が増加した	※ 10万円以上の増減により判断				効果
効果（R6とR5の指標値増減）	効果が上がった指標数	1指標				効果が上がった
	効果は変わらない指標数	1指標				効果は変わらない
	効果が下がった指標数	0指標				効果が下がった
	指標全体	効果が上がった				
			費用は下がった	効果は変わらない	効果が下がった	
			費用の増減無し			
			費用が増加した	○		

4. 次年度に向けた検討

(1) 令和6年度の事業実施における反省点、環境変化や関係者からの意見等を踏まえた検討課題、費用対効果向上のための課題

特になし

(2) 上記反省点及び課題を踏まえた、令和7年度及び令和8年度の取組

取組説明

- 事業の在り方検討（廃止、休止、再編成、受益者負担の見直しなど）
- 事業効果を上げるための事務改善の検討
- 事業費の見直し検討
- 業務時間効率化のための事務改善の検討
- 特に検討事項無し（現状維持又は現状の計画通り）

仕事の振り返りシート（令和6年度実施分）

作成・更新日 令和7年12月1日

事業名	秋山川グランドゴルフ場維持管理事業	実施計画事業or一般事業	一般事業	市長公約	該当なし	総合戦略	該当なし
		施策横断的な取組との関連性	SDGs	該当なし	コンパクトシティ	該当なし	スマートシティ

1. 基本情報

担当組織	部	産業文化スポーツ部	予算中事業名	予算科目	会計	一般	事業計画	単年度繰り返し	
	課	スポーツ推進課	秋山川グランドゴルフ場維持管理事業		款	10	新規or継続	継続事業	
	係	スポーツ施設係			項	5	市単独or国県補助	市単独事業	
政策体系	体系コード	2223	名称	佐野市体育施設条例及び同条例施行規則	目	2	義務or任意	任意的事業	
	基本目標	2	新たな流れの創造による賑わうまちづくり		事業期間	開始年度	H20	実施方法	
	政策	2	スポーツを軸とした人々が集まるまちづくり		期間	終了年度		直営	
	施策	2	生涯スポーツ・競技スポーツの振興とスポーツ環境の整備					事業分類	
	基本事業	3	スポーツ施設の整備と運営					施設維持管理事業	

2. 事業概要と目的及び（基本計画期間内）目標値

(1) 事業概要

事業概要	・グランドゴルフ場及びトイレの維持管理
------	---------------------

(2) 目的

目的 (本事業によって成し遂げたい状態)	・利用者が安全で快適に利用できる施設・設備環境の整備が図られる。	効果指標	単位	R3	R4	R5	R6	R7
		市有スポーツ施設の利用人数	人	250,000	300,000	350,000	470,000	470,000

3. 前年度の実績（活動及び費用対効果）説明

(1) 活動実績

活動実績 (R6年度に行なった主な活動内容)	・グランドゴルフ場及びトイレの維持管理 (河川災害復旧工事のため、R5はグラウンド利用中止)	活動指標	単位	R4	R5	R6		
		修繕件数	件	0	0	0		
		除草、剪定	回	4	0	0		
		事業費計	千円	574	117	121		
		一般財源	千円	574	117	121		
		特定財源（国・県・他）	千円					
		（うち受益者負担）	千円					

(3) 活動による効果

効果説明 (定量及び定性)	市有スポーツ施設を良好な状態を維持する。 市有スポーツ施設の利用促進を図る。	効果指標	単位	R4	R5	R6	指標の性質	R5とR6の比較
		市有スポーツ施設の利用人数	人	355,475	462,351	426,296	値が大きいほど良い	効果が下がった

(4) 事業効果を説明する数値データの推移

↓選択して下さい

費用（R6とR5の一般財源増減）	費用の増減無し	効果指標	単位	R4	R5	R6	指標の性質	R5とR6の比較
		市有スポーツ施設の利用人数	人	355,475	462,351	426,296	値が大きいほど良い	効果が下がった

(5) 費用対効果結果（自動判定）

効果 (R6とR5の指標値増減)	効果が上がった指標数 0指標 効果は変わらない指標数 0指標 効果が下がった指標数 1指標 指標全体 効果が下がった	効果が上がった指標数	0指標	費用	効果が上がった	効果は変わらない	効果が下がった	効果 費用 費用が増加した
		効果は変わらない指標数	0指標		費用は下がった			
		効果が下がった指標数	1指標		費用の増減無し			
		指標全体	効果が下がった		費用が増加した			

4. 次年度に向けた検討

(1) 令和6年度の事業実施における反省点、環境変化や関係者からの意見等を踏まえた検討課題、費用対効果向上のための課題

特になし

(2) 上記反省点及び課題を踏まえた、令和7年度及び令和8年度の取組

取組説明

- 事業の在り方検討（廃止、休止、再編成、受益者負担の見直しなど）
- 事業効果を上げるための事務改善の検討
- 事業費の見直し検討
- 業務時間効率化のための事務改善の検討
- 特に検討事項無し（現状維持又は現状の計画通り）

仕事の振り返りシート（令和6年度実施分）

作成・更新日 令和7年12月1日

事業名	運動公園等指定管理事業	実施計画事業or一般事業	一般事業	市長公約	該当なし	総合戦略	該当なし
		施策横断的な取組との関連性	SDGs	該当なし	コンパクトシティ	該当なし	スマートシティ

1. 基本情報

担当組織	部	産業文化スポーツ部	予算中事業名	予算 科目	会計	一般	事業計画	単年度繰り返し	
	課	スポーツ推進課	運動公園等指定管理事業		款	10	新規or継続	継続事業	
	係	スポーツ施設係			項	5	市単独or国県補助	市単独事業	
政策体系	体系コード	2223	名称	根拠法令、条例等	目	2	義務or任意	任意的事業	
	基本目標	2	新たな流れの創造による賑わうまちづくり		事業	開始年度	H20	実施方法	
	政策	2	スポーツを軸とした人々が集まるまちづくり	条例施行規則	期間	終了年度		指定管理者	
	施策	2	生涯スポーツ・競技スポーツの振興とスポーツ環境の整備		佐野市都市公園条例及び同			施設維持管理事業	
	基本事業	3	スポーツ施設の整備と運営	条例施行規則					

2. 事業概要と目的及び（基本計画期間内）目標値

(1) 事業概要

事業概要	・運動公園、栄公園、佐野武道館の3施設を指定管理者により維持管理を行い、市民サービスの向上と経費の削減を図る。
------	---

(2) 目的

目的 (本事業によって成し遂げたい状態)	・利用者が安全で快適に利用できる施設・設備環境の整備が図られる。	効果指標	単位	R3	R4	R5	R6	R7
		指定管理施設利用者数	人	132,898	170,679	205,208	210,000	210,000
		安全に使用できる市有スポーツ施設数	施設	38	41	41	41	41
		市有スポーツ施設の利用者数	人	250,000	300,000	450,000	470,000	470,000

3. 前年度の実績（活動及び費用対効果）説明

(1) 活動実績

活動実績 (R6年度に 行った主な活 動内容)	・指定管理者：シンコースポーツ株式会社 令和6年4月1日～令和9年3月31日 ・施設の修繕（1件30万円以上） ・指定管理業務のモニタリング ・指定管理者への指導、助言	活動指標	単位	R4	R5	R6		
		指定管理施設数	施設	3	3	3		
		修繕件数	件	19	31	30		
		事業費計	千円	123,969	101,460	142,509		
		一般財源	千円	123,969	95,462	137,540		
		特定財源（国・県・他）	千円		5,998	4,969		
		（うち受益者負担）	千円					

(3) 活動による効果

効果説明 (定量及び 定性)	市有スポーツ施設を良好な状態を維持する。 市有スポーツ施設の利用促進を図る。	効果指標	単位	R4	R5	R6	指標の性質	R5とR6の比較
		指定管理施設利用者数	人	170,679	205,208	205,095	値が大きいほど良い	効果が下がった
		安全に使用できる市有スポーツ施設数	施設	41	41	41	値が大きいほど良い	効果は変わらない
		市有スポーツ施設の利用者数	人	355,475	462,351	426,296	値が大きいほど良い	効果が下がった

(5) 費用対効果結果（自動判定）

費用（R6とR5の一般財源増減）	費用が増加した	※ 10万円以上の増減により判断	効果				
			効果が上がった	効果は変わらない	効果が下がった		
			費用は下がった				
			費用の増減無し				
			費用が増加した			○	

4. 次年度に向けた検討

(1) 令和6年度の事業実施における反省点、環境変化や関係者からの意見等を踏まえた検討課題、費用対効果向上のための課題

いずれの施設も開設から年数が経ち、施設の改修や設備の更新が必要となっている。 施設利用に支障が無いように、効率的な施設管理、修繕等を実施していく必要がある。

(2) 上記反省点及び課題を踏まえた、令和7年度及び令和8年度の取組

□ 事業の在り方検討（廃止、休止、再編成、受益者負担の見直しなど）	取組説明	
	市民サービスの向上及び安全・安心な施設維持管理が図られるよう、隨時、適切なモニタリングを行う。	

- 事業の在り方検討（廃止、休止、再編成、受益者負担の見直しなど）
- 事業効果を上げるための事務改善の検討
- 事業費の見直し検討
- 業務時間効率化のための事務改善の検討
- 特に検討事項無し（現状維持又は現状の計画通り）

仕事の振り返りシート（令和6年度実施分）

作成・更新日 令和7年12月1日

事業名	運動公園等長寿命化事業	実施計画事業or一般事業	一般事業	市長公約	該当なし	総合戦略	該当なし
		施策横断的な取組との関連性	SDGs	該当なし	コンパクトシティ	該当なし	スマートシティ

1. 基本情報

担当組織	部	産業文化スポーツ部	予算中事業名	予算科目	会計	一般	事業計画	単年度のみ	
	課	スポーツ推進課	運動公園等長寿命化事業		款	10	新規or継続	新規事業	
	係	スポーツ施設係			項	5	市単独or国県補助	国県補助事業	
政策体系	体系コード	2223	名称		目	2	義務or任意	任意的事業	
	基本目標	2	新たな流れの創造による賑わうまちづくり		事業期間	開始年度	R4	実施方法	
	政策	2	スポーツを軸とした人々が集まるまちづくり		終了年度			直営	
	施策	2	生涯スポーツ・競技スポーツの振興とスポーツ環境の整備					事業分類	
	基本事業	3	スポーツ施設の整備と運営					施設等整備事業	

2. 事業概要と目的及び（基本計画期間内）目標値

(1) 事業概要

事業概要	平成30年度国庫補助を受け、運動公園、田沼GSC、中運動公園の10か年の長寿命化計画を策定。令和3年度に市公園施設長寿命化計画（都市整備課所管）に統合し、令和4年度から運動公園施設の長寿命化を実施。
------	---

(2) 目的

目的 (本事業によって成し遂げたい状態)	市公園施設長寿命化計画に基づき、計画的に施設の改修を行い、安全で快適なスポーツ施設に整備する。	効果指標	単位	R3	R4	R5	R6	R7
		安全に使用できる市有スポーツ施設数	施設	38	41	41	41	41
		市有スポーツ施設の利用人数	人	250,000	300,000	350,000	470,000	470,000

3. 前年度の実績（活動及び費用対効果）説明

(1) 活動実績

活動実績 (R6年度に行なった主な活動内容)	運動公園 工事：展望台更新 運動公園外施設長寿命化計画策定	活動指標	単位	R4	R5	R6		
		改修整備する施設数	施設		3	1		
		事業費計	千円	0	38,470	54,318		
		一般財源	千円		3,370	6,568		
		特定財源（国・県・他）	千円		35,100	47,750		
		（うち受益者負担）	千円					

(3) 活動による効果

効果説明 (定量及び定性)	施設改修を行うことにより、安全で快適に利用できるようになる。	効果指標	単位	R4	R5	R6	指標の性質	R5とR6の比較
		安全に使用できる市有スポーツ施設数	施設	41	41	41	値が大きいほど良い	効果は変わらない
		市有スポーツ施設の利用人数	人	355,475	462,351	426,296	値が大きいほど良い	効果が下がった

(5) 費用対効果結果（自動判定）

費用（R6とR5の一般財源増減）	費用が増加した	※ 10万円以上の増減により判断	効果			費用（R6とR5の指標値増減）
			効果が上がった	効果は変わらない	効果が下がった	
			費用は下がった			
			費用の増減無し			
			費用が増加した		○	

4. 次年度に向けた検討

(1) 令和6年度の事業実施における反省点、環境変化や関係者からの意見等を踏まえた検討課題、費用対効果向上のための課題

いずれの施設も開設から年数が経ち、施設の改修や更新が必要となっている。

(2) 上記反省点及び課題を踏まえた、令和7年度及び令和8年度の取組

取組説明	
□ 事業の在り方検討（廃止、休止、再編成、受益者負担の見直しなど）	
□ 事業効果を上げるための事務改善の検討	
□ 事業費の見直し検討	
□ 業務時間効率化のための事務改善の検討	
☑ 特に検討事項無し（現状維持又は現状の計画通り）	

仕事の振り返りシート（令和6年度実施分）

作成・更新日 令和7年12月1日

事業名	陸上競技場運営委員会支援事業	実施計画事業or一般事業	一般事業	市長公約	該当なし	総合戦略	該当なし	
		施策横断的な取組との関連性	SDGs	該当なし	コンパクトシティ	該当なし	スマートシティ	該当なし

1. 基本情報

担当組織	部	産業文化スポーツ部	予算中事業名	予算科目	会計	一般	事業計画	単年度繰り返し	
	課	スポーツ推進課	陸上競技場運営委員会支援事業		款	10	新規or継続	継続事業	
	係	スポーツ施設係			項	5	市単独or国県補助	市単独事業	
政策体系	体系コード	2223	名称	佐野市都市公園条例	目	2	義務or任意	任意的事業	
	基本目標	2	新たな流れの創造による賑わうまちづくり		事業期間	開始年度	H2	実施方法	
	政策	2	スポーツを軸とした人々が集まるまちづくり		期間	終了年度		直営	
	施策	2	生涯スポーツ・競技スポーツの振興とスポーツ環境の整備					事業分類	
	基本事業	3	スポーツ施設の整備と運営					支援事業	

2. 事業概要と目的及び（基本計画期間内）目標値

（1）事業概要

事業概要	・陸上競技場運営委員会に交付金を交付している。年1回の総会出席、隨時意見交換を行っている。 ・陸上競技場運営委員会とは運動公園陸上競技場（第2種公認）の利用開始に伴い、施設の有効利用及び効果的利用を図るため具体策の研究協議や円滑で適正な競技場運営ができる活動をし、陸上競技場で開催される陸上競技大会に対し協力を行っている。
------	--

（2）目的

目的 (本事業によって成し遂げたい状態)	・陸上競技場施設・設備の充実及び有効利用に関する研究・提言をしてもらう。	効果指標	単位	R3	R4	R5	R6	R7
	・公認審判員の養成や競技場の開催及び運営に携わってもらう。	利用・運営の提言数	回	1	1	1	1	1
	・各種陸上競技会の大会運営などに協力してもらう。							

3. 前年度の実績（活動及び費用対効果）説明

（1）活動実績

活動実績 (R6年度に行なった主な活動内容)	(市の活動) 陸上競技場運営委員会に交付金を支出、年1回の総会、隨時意見の交換を行っている。 (陸上競技場運営委員会の活動) 施設の有効利用を図るために具体策の研究協議や円滑で適正な協議を行う。	活動指標	単位	R4	R5	R6	
		運営委員会の会議・研究回数	回	3	3	3	
		運営委員会の大会協力回数	回	8	8	8	
		事業費計	千円	50	50	50	
		一般財源	千円	50	50	50	
		特定財源（国・県・他）	千円				
		（うち受益者負担）	千円				

（3）活動による効果

効果説明 (定量及び定性)	・陸上競技場施設・設備の充実及び有効利用に関する研究・提言をしてもらう。	効果指標	単位	R4	R5	R6	↓選択して下さい
		利用・運営の提言数	回	1	1	1	値が大きいほど良い 効果は変わらない

（5）費用対効果結果（自動判定）

費用（R6とR5の一般財源増減）	費用の増減無し	※ 10万円以上の増減により判断				効果
効果（R6とR5の指標値増減）	効果が上がった指標数	0指標				効果が上がった
	効果は変わらない指標数	1指標				効果は変わらない
	効果が下がった指標数	0指標				効果が下がった
	指標全体	効果は変わらない				

費用	効果が上がった	効果は変わらない	効果が下がった

4. 次年度に向けた検討

（1）令和6年度の事業実施における反省点、環境変化や関係者からの意見等を踏まえた検討課題、費用対効果向上のための課題

特になし

（2）上記反省点及び課題を踏まえた、令和7年度及び令和8年度の取組

取組説明

- 事業の在り方検討（廃止、休止、再編成、受益者負担の見直しなど）
- 事業効果を上げるための事務改善の検討
- 事業費の見直し検討
- 業務時間効率化のための事務改善の検討
- 特に検討事項無し（現状維持又は現状の計画通り）